



BMW Motorrad



Rider's Manual

F 900 R

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリョウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

電話

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMW へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された新規車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備とお手入れに関する情報が掲載されています。

保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

お問い合わせ

疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad.

01 40 1 603 378



目次

1 一般的な情報	5	3 表示	23	トラクションコントロール (ASC/DTC)	61
全体図	6	インジケーター / 警告灯	24	電子調整式サスペンション (D-ESA)	62
記号と意味	6	TFT ディスプレイ のPure Ride 画面	25	走行モード	64
装備仕様	7	TFT ディスプレイのメ ニュー画面	27	走行モードPRO	68
仕様(諸元)	7	TFT ディスプレイのSport 1 画面	29	クルーズコントロール	69
本書の記述について	8	TFT ディスプレイのSport 2 画面	30	Laptimer	72
補足情報	8	警告表示	31	シフトポイント用フラッグ シュ	73
認証および運転許可	8	4 取扱方法	51	盗難警報装置(DWA)	74
データ処理について	8	イグニッションスイッチ / ステアリングロック	52	グリップヒーター	76
2 全体図	13	Keyless Ride によるイグ ニッション	53	シート	77
左側面	15	電子式イモビライ ザーEWS	57	5 TFT ディスプレイ	79
右側面	17	イグニッションキルスイッ チ	57	一般的な情報	80
シート下	18	ライト	58	原理	81
左コンビネーションスイッ チ	19	ハザードランプ	59	Pure Ride 画面	88
右コンビネーションスイッ チ	20	ウインカー	60	一般的な設定	89
メーターパネル	21			Bluetooth	90
				My Motorcycle	93
				オンボードコンピュー ター	96
				ナビゲーション	96

メディア	99	モーターサイクルを搬送用 に固定します	124	クラッチ	148
電話	99			クーラント	149
ソフトウェアバージョンを 表示する	100	8 技術情報	127	タイヤ	150
ライセンス情報を表示す る	100	一般的な情報	128	リムとタイヤ	151
6 調整.....	101	アンチロックブレーキシス テム (ABS)	128	ホイール	151
ミラー	102	トラクションコントロール (ASC/DTC)	130	ライトバルブ	161
ヘッドライト	102	エンジンブレーキトルクレ ギュレーター	132	ジャンプスタート	161
クラッチ	103	Dynamic ESA	133	バッテリー	163
ブレーキ	103	走行モード	133	ヒューズ	166
スプリングプリロード	104	ダイナミックブレーキコン トロール	135	診断コネクター	167
ショックアブソーバー	105	ギヤシフトアシスト	136	チェーン	168
7 走行.....	107	アダプティブヘッドライ ト	137	10 アクセサリー	173
安全に関する注意事項	108	9 メインテナンス	139	一般的な情報	174
定期点検	110	一般的な情報	140	電源ソケット	174
始動	111	ツールキット	140	ソフトケース	175
慣らし走行	114	サービスツールキット	140	トップケース	176
ギヤチェンジ	115	フロントホイールスタン ド	141	ナビゲーションシステ ム	179
シフトポイント用フラック シュ	116	エンジンオイル	142	11 お手入れ	185
ブレーキ	117	ブレーキシステム	144	ケア用品	186
駐車	118			洗車	186
給油	119			損傷しやすい車両部品のお 手入れ	187
				ペイントのお手入れ	188
				保護コーティング	188

長期保管	188	13 サービス	209
モーターサイクルの再使用	189	リサイクル	210
12 テクニカルデータ	191	BMW Motorrad サービス	
トラブルシューティング	192	ス	211
ボルト	196	BMW Motorrad サービス履	
燃料	198	歴	212
エンジンオイル	198	BMW Motorrad モビリティ	
エンジン	199	サービス	212
クラッチ	200	メンテナンス作業	212
ギヤボックス	200	メンテナンススケジュール	
リヤホイールドライブ	201	ル	215
フレーム	201	メンテナンスの確認	216
サスペンション	201	サービスの確認	230
ブレーキ	202	14 付録	233
ホイールとタイヤ	203	電子式エンジン始動ロック	
電装系	205	システム(イモビライ	
盗難警報装置	206	ザー) 用認証	234
寸法	207	キーレスエントリー用認	
重量	208	証	236
性能	208	TFT メーターパネル用認	
		証	238
		15 索引	241

一般的な情報


全体図	6
記号と意味	6
装備仕様	7
仕様(諸元)	7
本書の記述について	8
補足情報	8
認証および運転許可	8
データ処理について	8


全体図


本書の第2章には、ご使用になられるモーターサイクルの全体図があります。第13章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。


Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。


記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

 **注意事項** モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。


◀ 注意事項の末尾を示します。

• 作業内容の指示を示します。

» 作業の結果を示します。

▶▶▶ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。

 締付けトルク。

 仕様(諸元)。

LA 国別仕様。

OE オプション装備
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場
で装着されます。

OA アクセサリー
BMW Motorrad アクセサリーのご購入および取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承ります。

ABS アンチロックブレーキシステム。

ASC オートマチックスタビリティコントロール (ASC)。

EWS 電子式イモビライザー。

D-ESA 電子調整式サスペンション。

DTC ダイナミックトラクションコントロール (オプション装備は走行モード Pro との組み合わせでのみ)。

DWA 盗難警報装置 (DWA)

RDC タイヤ空気圧コントロール

装備仕様

BMW モーターサイクルのご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション (OE) および選択されたアクセサリー (OA) について説明しています。そのため、ご使用のモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモーターサイクルと異なる場合があります。記載されていない装備がご使用のモーターサイクルに装着されている場合は、個別の説明書の記載をご参照ください。

仕様(諸元)

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。

本取扱説明書のテクニカルデータと仕様は基準として参照してください。選択されたオプション装備、国別仕様または各国の測定方法などの理由により、モデル別のデータは本書と異なることがあります。詳細なデータは自動車登録証と車両の注意書をご覧ください。BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでもご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術関連情報など、

BMW Motorrad に関する一般的な情報については、bmw-motorrad.com/manuals をご覧ください。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリーに関する官庁の使用許可は、bmw-motorrad.com/certification でご確認ください。

データ処理について

一般的な情報

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能

やインフォテイメント機能を可能にします。

保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に応じて、車両識別番号、ライセンスナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用した ConnectedDrive ユーザーアカウントなどにより車両で集められたデータによってもドライバーや車両所有者を特定することができます。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護法にしたがい、メーカーや個人データを収集または処理する企業に対して特定の権利を有します。

車両使用者は、車両使用者の個人データを保存する機関に対して無償および包括的な情報開示請求権を有します。

この機関とは次のようなものがあります：

- 車両メーカー
- 認定サービスパートナー
- 専門の整備工場
- サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報が保存され、どのような目的でそのデータが利用され、どこに由来するのか、についての情報を請求することができます。これらの情報を請求するには、所有または使用証明が必要です。

情報開示請求には他の企業や機関に転送されたデータに関する情報も含まれます。

車両メーカーのウェブページには、有効なデータ保護に関する注意事項が記載されています。このデータ保護に関する注意事項には、データの削除や訂正を行

う権利についての情報も含まれます。車両メーカーはインターネットでも、連絡先データやデータ保護委託会社の問い合わせ先を記載しています。

車両所有者はBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナー、専門の整備工場において車両に保存されたデータを有償で読み出すことができます。

車両データの読み出しは、法的に定められた車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットから行います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲内で、保存されているデータを官庁に提供する義務があります。必要範囲のデータ提供は、犯罪証明など個別のケースで行われます。

国の機関は有効な法の範囲内で、個別のケースにおいてその機関

でデータを車両から読み出す権利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロールユニットがデータを処理します。

例えば以下が含まれます：

- ホイール回転数やホイール速度、動作遅延などの車両や個別コンポーネントのステータスメッセージ
- 温度などの環境状況

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。

これらの情報は一般に、以下のよう
なコンポーネント、モジュール、
システム、および環境の状態を示す
ものです：

- システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など。
- 重要なシステムコンポーネントの機能異常、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要です。さらにこれらのデータは機能不良の検出と解消、車両メーカーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況に応じてイベントまたはディフュクトメモリーに保存されます。

例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読出しはBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場で行うことができます。読出しには、法律で規定された車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットを使用します。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータは

顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。

車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場において修理またはサービス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送 一般的な情報

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えば以下が含まれます：

- ウインドシールド位置の設定
- サスペンション設定

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ
- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ
- 入力された目的地
- インターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USB メモリー、MP3 プレーヤーなど、車両と接続された機器に入っています。これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端末機器に特定の情報が伝送されます。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

サービス

一般的な情報

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットにより、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介していわゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は取扱説明書やメーカーのウェブページなど適切な箇所にあります。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使

用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用 IT システムとの安全な接続を介して行われます。

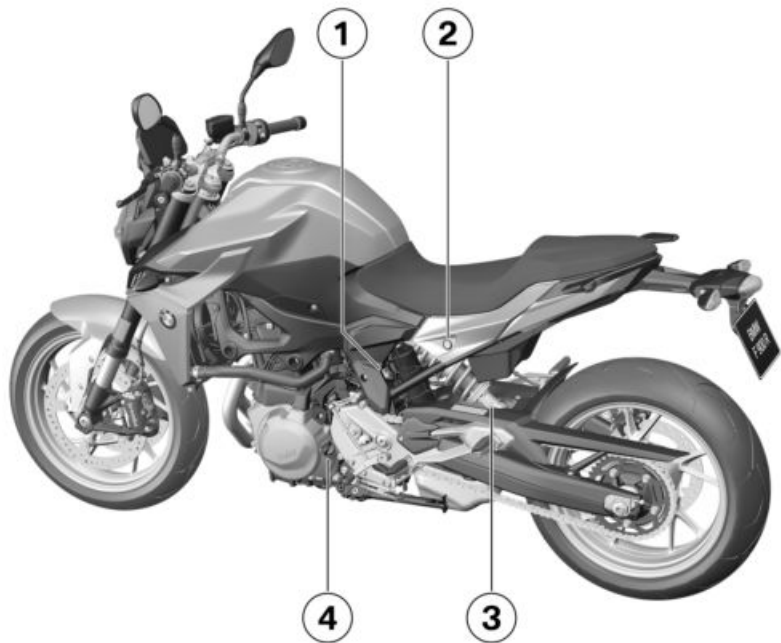
サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接続をオンまたはオフにすることもできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスはその都度該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護条件および利用条件の下で行われます。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

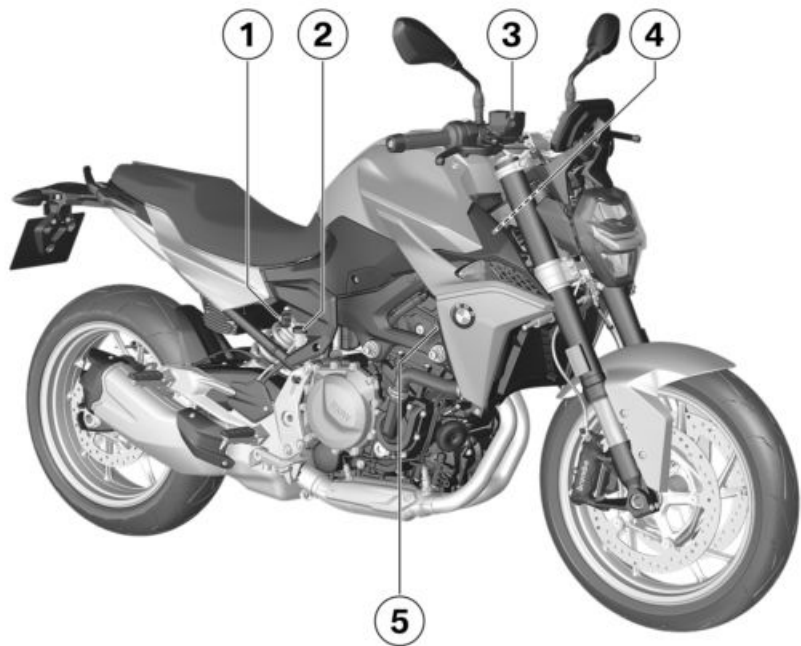
全体図

左側面	15
右側面	17
シート下.....	18
左コンビネーションスイッチ.....	19
右コンビネーションスイッチ.....	20
メーターパネル.....	21



左側面

- 1 電源ソケット (▶▶▶▶ 174)
- 2 シートロック (▶▶▶▶ 77)
- 3 ショックアブソーバーの調整 (▶▶▶▶ 105)
- 4 オイル注入口とオイルレベルゲージ (▶▶▶▶ 142)

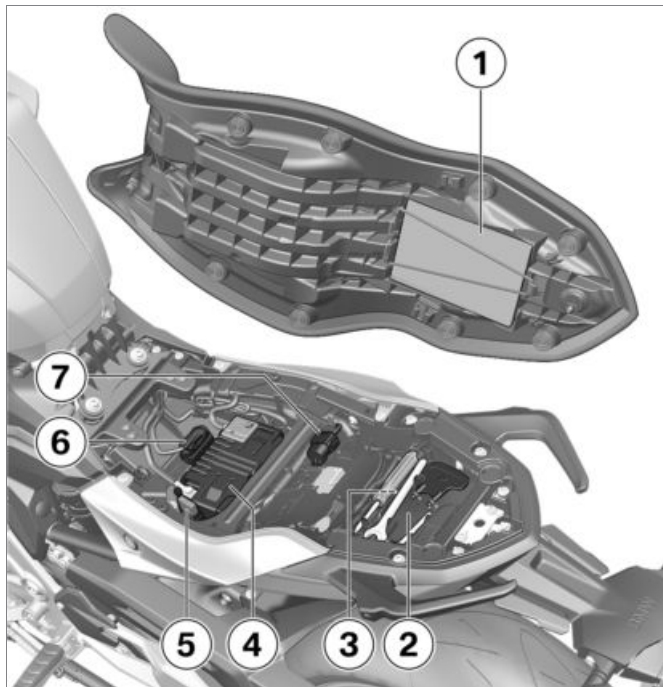


右側面

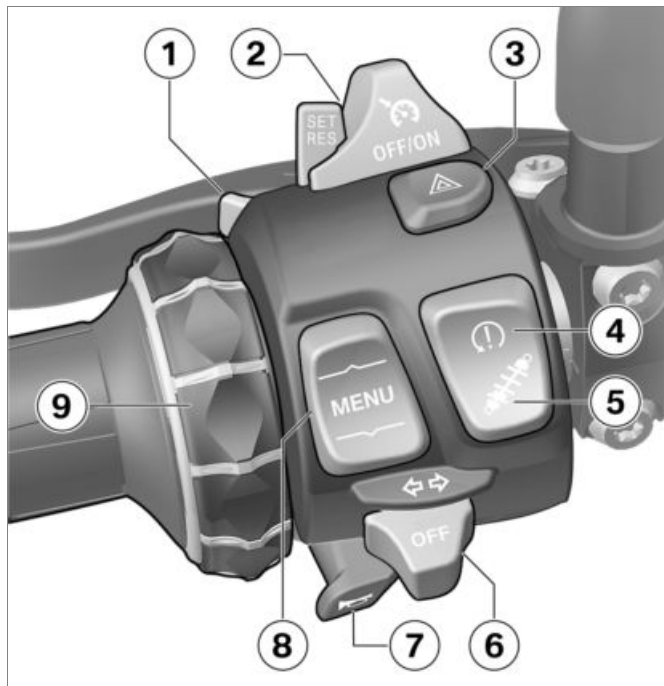
- 1 スプリングプリロードの調整 (▶▶▶▶ 104)
- 2 リヤブレーキフルードリザーバタンク (▶▶▶▶ 147)
- 3 フロントブレーキフルードリザーバタンク (▶▶▶▶ 146)
- 4 車両識別番号、型式プレート (ステアリングヘッドのところ)
- 5 クーラントレベル表示 (サイドフェアリングの後ろ側) (▶▶▶▶ 149)

シート下

- 1 Rider's Manual (➡ 6)
救急キット (Rider's Manual の下)
- 2 ツールキット (➡ 140)
- 3 コーディングプラグ用コネクター
- 走行モードPro^{OE} 装備
コーディングプラグを取り
付ける (➡ 66)。
- 4 バッテリー (➡ 163)
- 5 メインヒューズを交換する
(➡ 166)。
- 6 診断コネクター (➡ 167)
- 7 ヒューズを交換する
(➡ 166)。



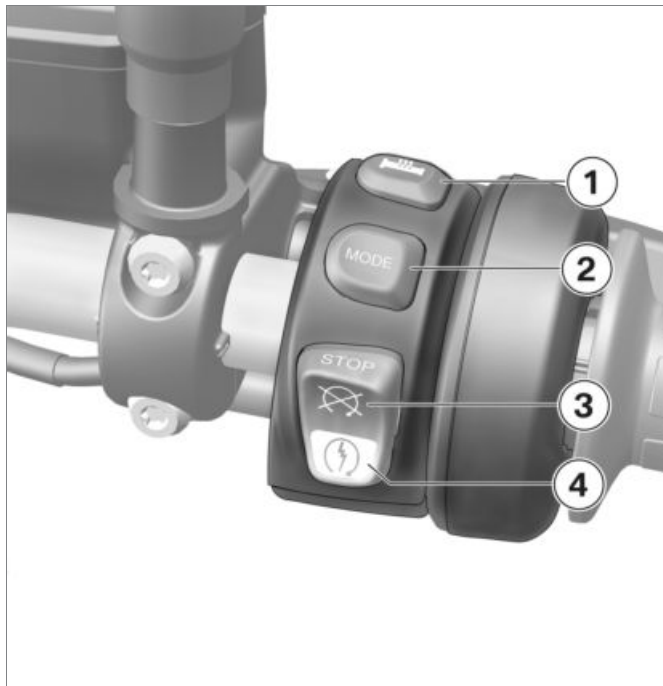
左コンビネーションスイッチ

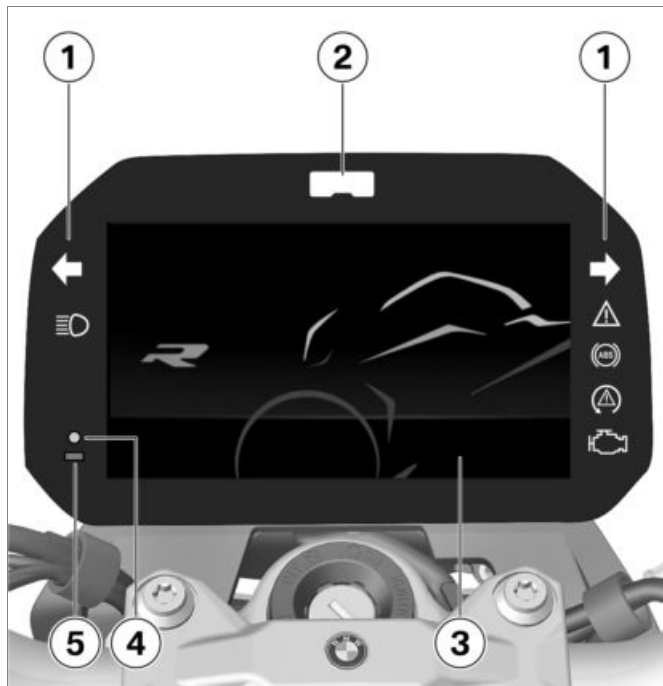


- 1 ハイビームとパッシングライト (➡ 58)
- 2 - クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (➡ 70)。
- 3 ハザードランプ (➡ 59)
- 4 ASC/DTC (➡ 61)
- 5 - Dynamic ESA^{OE} 装備
調整方法 (➡ 62)
- 6 ウィンカー (➡ 60)
- 7 ホーン
- 8 MENU ロッカースイッチ (➡ 81)
- 9 Multi-Controller
操作エレメント (➡ 81)

右コンビネーションスイッチ

- 1 ーグリップヒーターOE 装備
グリップヒーターの操作 (▶▶ 76)。
- 2 走行モード (▶▶ 65)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶ 57)
- 4 スターターボタン (▶▶ 111)





メーターパネル

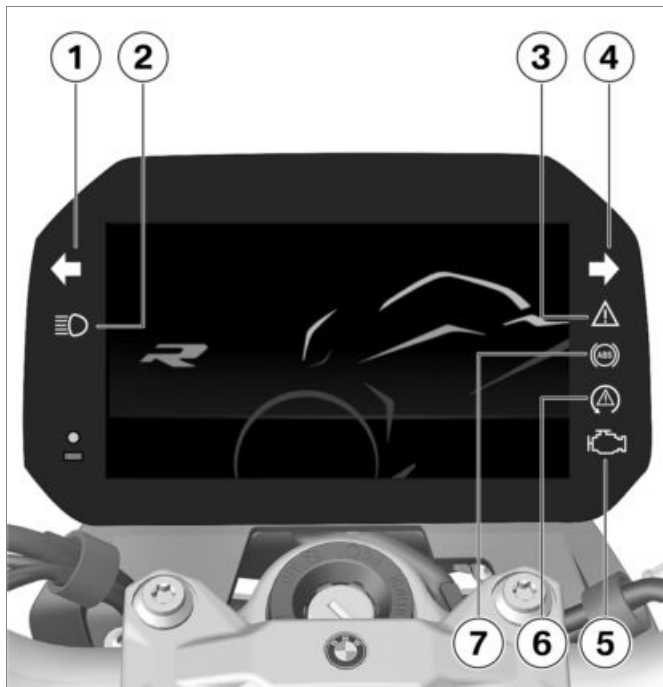
- 1 インジケーター / 警告灯 (☞ 24)
- 2 シフトポイント用フラッシュ
- 3 TFT ディスプレイ (☞ 25) (☞ 27)
- 4 DWA LED
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
アラーム信号 (☞ 75)
- Keyless Ride^{OE} 装備
無線キー用インジケーター
Keyless Ride によるイグニッション (☞ 54)。
- 5 フォトダイオード (メーターパネルライトの輝度調整用)

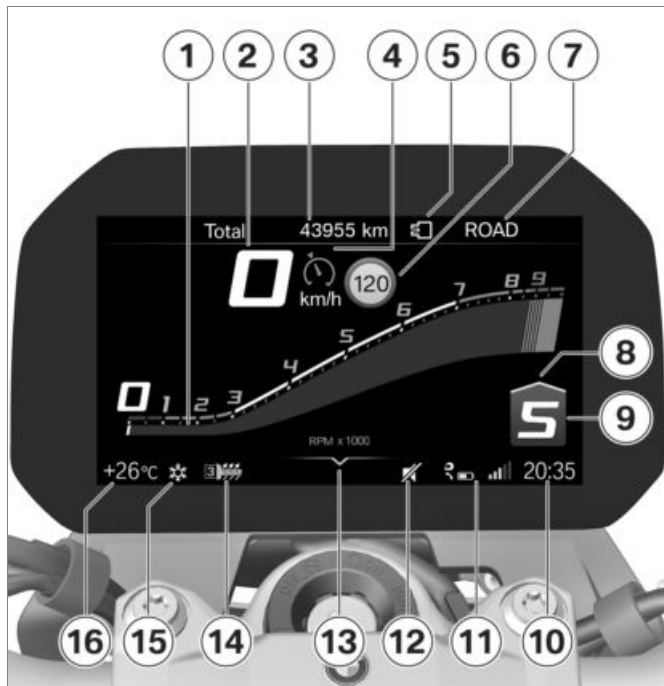
表示

インジケーター / 警告灯	24
TFT ディスプレイのPure Ride 画面.....	25
TFT ディスプレイのメニュー画面.....	27
TFT ディスプレイのSport 1 画面.....	29
TFT ディスプレイのSport 2 画面.....	30
警告表示.....	31

インジケーター / 警告灯

- 1 左側ウインカー
ウインカーを操作する (▶▶ 60)。
- 2 ハイビーム (▶▶ 58)
- 3 ジェネラル警告灯 (▶▶ 31)
- 4 右側ウインカー
- 5 排気ガス警告灯
排気ガス警告 (▶▶ 43)
- 6 ASC/DTC (▶▶ 46)
- 7 ABS (▶▶ 45)

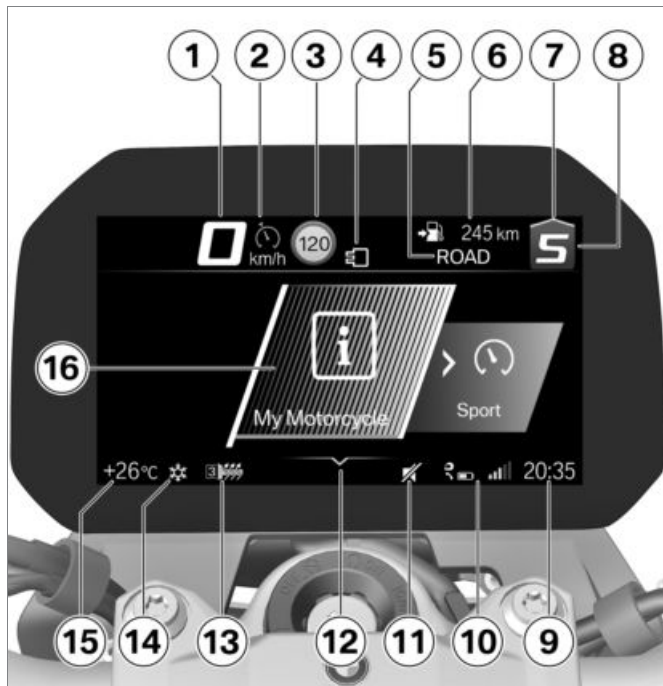




TFT ディスプレイ のPure Ride 画面

- 1 エンジン回転数表示 (▶▶▶ 88)
- 2 スピードメーター
- 3 ライダー情報ステータスバー (▶▶▶ 86)
- 4 クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (▶▶▶ 70)。
- 5 コーディングプラグ
- 走行モードPro^{OE} 装備
コーディングプラグを取り付ける (▶▶▶ 66)。
- 6 速度制限情報 (▶▶▶ 87)
- 7 走行モード (▶▶▶ 64)
- 8 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 88)
- 9 ギヤインジケーター、
ニュートラル位置で「N」
(アイドリング) が表示されます。
- 10 時計 (▶▶▶ 89)
- 11 接続ステータス (▶▶▶ 91)

- 12 ミュートスイッチ (▶▶▶▶ 89)
- 13 操作サポート
- 14 グリップヒーターレベル (▶▶▶▶ 76)
- 15 外気温度警告 (▶▶▶▶ 39)
- 16 外気温度



TFT ディスプレイのメ ニュー画面

- 1 スピードメーター
- 2 -クルーズコントロール^{OE} 装備
クルーズコントロール (▶▶▶ 70)。
- 3 速度制限情報 (▶▶▶ 87)
- 4 コーディングプラグ
- 走行モードPro^{OE} 装備
コーディングプラグを取り
付ける (▶▶▶ 66)。
- 5 走行モード (▶▶▶ 64)
- 6 ライダー情報ステータス
バー (▶▶▶ 86)
- 7 シフトアップ推奨 (▶▶▶ 88)
- 8 ギャインジケーター、
ニュートラル位置で「N」
(アイドリング) が表示さ
れます。
- 9 時計
- 10 接続ステータス
- 11 ミュートスイッチ (▶▶▶ 89)
- 12 操作サポート



TFT ディスプレイ のSport 1 画面

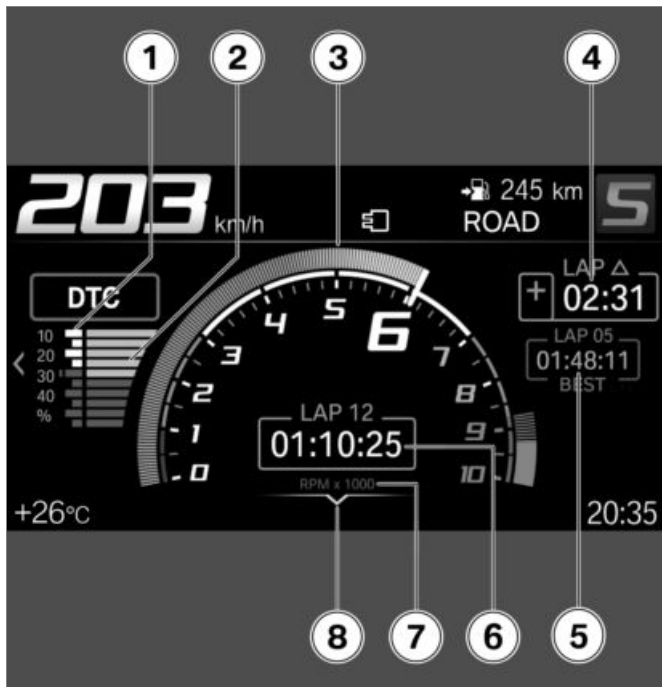
－走行モードPro^{OE} 装備

- 1 最大DTC トルク低減
- 2 現在のDTC トルク低減
- 3 エンジン回転数表示
- 4 最大制動減速度
- 5 現在の制動減速度
- 6 現在のバンク角
- 7 最大バンク角
- 8 エンジン回転数表示の単位：1 分間あたり 1000 回転

TFT ディスプレイ のSport 2 画面

– 走行モードPro^{OE} 装備

- 1 最大DTC トルク低減
- 2 現在のDTC トルク低減
- 3 エンジン回転数表示
- 4 前回のラップタイムと基準タイムの差または現在のラップタイムと基準タイムの差
- 5 基準タイム：現在登録されているラップで最速のもの、またはかつて登録された最速ラップ
- 6 現在のラップタイム
時間計算を開始する (→ 72)。
- 7 エンジン回転数表示の単位：1 分間あたり 1000 回転
- 8 操作サポート



警告表示

表示

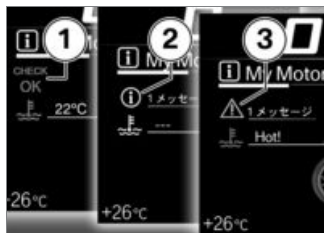
警告は対応する警告灯により表示されます。

警告はジェネラル警告灯と TFT ディスプレイのダイアログ画面の組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。



ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。

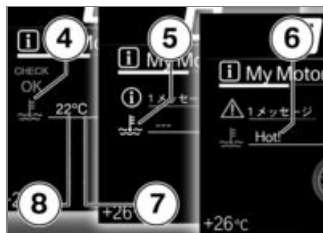
以降のページに警告表示の一覧があります。



チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

- 緑色の CHECK OK **1**: メッセージなし、値は最適。
- 白い円と小さな「i」 **2**: 情報。
- 黄色の三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が最適範囲から逸脱。
- 赤い三角表示 **3**: 警告メッセージ、値が限界に到達



値の表示

アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

- 緑：(OK) 現在の値は最適。
- 青：(Cold!) 現在の温度は低すぎる。
- 黄：(Low! / High!) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤：(Hot! / High!) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白：(--) 有効な値なし。値の代わりに線 **5** が表示されます。



注意事項

個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能になっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が表示されます。有効な測定値がない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。◀


























チェックコントロールダイアログ画面












メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。








- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージは状況によって変化しながら、メニューMy Motorcycle の




ページに追加タブとして添付されます (▶▶ 83)。故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができます。

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	 バッテリー電圧が低下しています!	車両電装システム電圧が限界値 (▶▶▶▶ 40)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。	 不具合のあるバルブが表示されます。	ライトバルブの故障 (▶▶▶▶ 41)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	 不具合のあるバルブが表示されます。	
	 DWA バッテリーが弱い。	DWA バッテリーが弱っている (▶▶▶▶ 42)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。	 盗難防止用バッテリーが放電状態。	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶▶ 42)
 ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。	 クーラント温度が高すぎる!	クーラント温度が高すぎる (▶▶▶▶ 43)
 排気ガス警告灯が点灯します。	 エンジン!	排気ガス警告 (▶▶▶▶ 43)

インジケータ / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。	 エンジン制御の通信がない。	エンジンコントロール機能停止 (▶▶▶ 43)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。	 エンジン制御内に故障。	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 43)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。	 エンジン制御内に深刻な故障!	エンジン制御の重度の故障 (▶▶▶ 44)
	 転倒検知センサーが故障	転倒検知センサーが故障している (▶▶▶ 44)
	 サイドスタンドモニターが故障。	サイドスタンドモニター故障 (▶▶▶ 45)
 ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。		ABS 自己診断が終了していない (▶▶▶ 45)
 ABS インジケータ / 警告灯が点灯します。	 ABS は制限付きで使用可能!	ABS の故障 (▶▶▶ 45)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	 ABS が故障!	ABS 機能停止 (▶▶▶ 45)
 ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。	 ABS Pro が故障!	ABS Pro 機能停止 (▶▶▶ 46)
 ASC/DTC インジケーター / 警告灯が素早く点滅します。		ASC/DTC の介入 (▶▶▶ 46)
 ASC/DTC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。		ASC/DTC の自己診断が完了していません (▶▶▶ 46)
 ASC/DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 Off!	ASC/DTC が OFF になっている (▶▶▶ 46)
	 駆動制御はOFF の状態。	
 ASC/DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 駆動制御の機能を制限している!	ASC/DTC の使用に制限 (▶▶▶ 47)

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 ASC/DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。	 駆動制御が故障!	ASC/DTC の不具合 (▶▶▶ 47)
 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。	 サスペンション調整が故障!	D-ESA の故障 (▶▶▶ 48)
	 リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください	フューエルリザーブ容量に達している (▶▶▶ 48)
	 シフト表示が点滅します。	ギヤが学習されていない (▶▶▶ 48)
 左フラッシュコントロールライトが緑に点滅します。		ハザードランプは ON の状態です (▶▶▶ 49)
 右フラッシュコントロールライトが緑に点滅します。		

インジケーター / 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	 が白で表示されます。	サービス期限 (▶▶▶▶ 49)
	サービス実施時期!	
 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。	 が黄色で表示されます。	サービス時期を過ぎている (▶▶▶▶ 50)
	サービス時期超過!	

外気温度

外気温度は TFT ディスプレイのステータスバーに表示されます。

停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、値の代わりに横線が一時的に表示されます。



外気温度が以下の限界値未満になると、路面が凍結するおそれがあります。



外気温度の限界値

約 3°C

この温度を下回ると、TFT ディスプレイのステータスバーで外気温度表示が氷結晶アイコンとともに点滅します。

外気温度警告



氷結晶アイコン(路面凍結警告)が表示されます。

考えられる原因:

モーターサイクル付近で測定された外気温度は 3°C を下回っています。



警告

3°C 以上でも路面が凍結するおそれあり

事故の危険

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀
- よく注意して走行してください。

無線キーが受信範囲外

– Keyless Ride^{OE} 装備



ジェネラル警告灯(黄)が点灯します。



無線キーが有効範囲内にならない。イグニッションを再度 ON にすることができない。

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。


- 無線キーのバッテリーを点検します。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリー交換(▶▶ 56)。
- 走行を続行するにはスペアキーを使用します。
- Keyless Ride^{OE} 装備
- 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失(▶▶ 55)。
- 走行中にチェックコントロールダイアログが表示されても、落ち着いていてください。


走行は続行できます。エンジンは停止しません。


- 故障した無線キーはBMW Motorrad ディーラーに交換を依頼してください。

無線キーのバッテリー交換

– Keyless Ride^{OE} 装備

 ジェネラル警告灯(黄)が点灯します。


 無線キーバッテリーは50%。機能制限はない。


 無線キーバッテリーが弱い。集中ロック機能が制限されている。バッテリーを交換すること。


考えられる原因:

- 無線キーのバッテリーがフル容量ではありません。無線キーの機能は、限られた時間内のみ保証されています。
- 無線キーのバッテリー交換(▶▶ 56)。

車両電装システム電圧不足

 ジェネラル警告灯(黄)が点灯します。

 が黄色で表示されます。

 バッテリー電圧! 不要な電力消費機器をOFFにする。

 **警告**

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーが充電されません。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電します。

 **注意事項**

12 V バッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) 端子を取り違えると、ジェネレーターレギュレー


ターのヒューズが溶断する可能性があります。◀


考えられる原因:


ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断している。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

車両電装システム電圧が限界値

 ジェネラル警告灯(赤)が点灯します。

 が赤で表示されます。

 バッテリー電圧が低下しています! 電力消費機器がOFFになった。バッテリーを点検すること。

警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーが充電されません。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電します。

注意事項


12Vバッテリーの取り付け方が不適切であるか、(ジャンプスタートなどで) 端子を取り違えると、ジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断する可能性があります。◀


考えられる原因:


ジェネレーターまたはジェネレーター駆動部の故障、バッテリーの故障、またはジェネレーターレギュレーターのヒューズが溶断している。


- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。


ライトバルブの故障


 ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。


 不具合のあるバルブが表示されます:


 ハイビームが故障!


 左フロントウインカーが故障! または右フロントウインカーが故障!


 ロービームが故障!


 フロントポジションが故障!

 デイライトが故障!


 テールライトが故障!


 ブレーキライトが故障!


 左リヤウインカーが故障! または右リヤウインカーが故障!

 ライセンスプレートライトが故障!

– 正規ディーラーに点検を依頼すること。

 ジェネラル警告灯 (黄) が点滅します。

 不具合のあるバルブが表示されます:

 アダプティブヘッドライトの故障。正規ディーラーに点検を依頼すること。



警告

車両の照明手段の機能停止により、車両が通行中に気付かれずに見過ごされる

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携行してください。◀

考えられる原因:

ライトバルブが故障していません。

- 目視点検を行い、故障したバルブを見つけ出します。
- ロービーム / ハイビーム用 LED を交換する(▶▶▶ 161)。
- ポジションライト / パーキングライト用 LED を交換する(▶▶▶ 161)。
- ブレーキライト / テールライト用 LED を交換する(▶▶▶ 161)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(▶▶▶ 161)。

DWA バッテリーが弱っている

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



DWA バッテリーが弱い。制約なし。正規ディーラーへ予約を入れること。



注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



盗難防止用バッテリーが放電状態。独自のアラームなし。正規ディーラーへ予約を入れること。



注意事項

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

クーラント温度が高すぎる



ジェネラル警告灯(赤)が点灯します。



クーラント温度が高すぎる! クーラントレベルを点検。荷重を下げて走行し冷却すること。



重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する(▶▶▶ 149)。

クーラントレベルが低すぎる場合:

- クーラントを補充する(▶▶▶ 150)。

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますために部分負荷域で走行します。
- 渋滞中はエンジンを停止させます。ただし、ラジエーターファンの作動を止めないために、イグニッションはONのままにしておきます。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早くBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

排気ガス警告



排気ガス警告灯が点灯します。



エンジン! 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットが、有害物質の排出に作用する故障を診断しました。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
 - » 走行を続行することは可能です。ただし、有害物質の排出規定値を超えています。

エンジンコントロール機能停止



ジェネラル警告灯(黄)が点灯します。



エンジン制御の通信がない。複数のシステムが該当。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



ジェネラル警告灯(黄)が点灯します。



エンジン制御内に故障。引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。



警告

エンジンのエマージェンシーモードにおける特殊な走行特性

事故の危険

- 急激な加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。極端な場合には、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、

できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

エンジン制御の重度の故障



ジェネラル警告灯(黄)が点滅します。



エンジン制御内に深刻な故障! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。



警告

エマージェンシーモードでのエンジンの損傷

事故の危険

- 低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- 可能であれば車両の回収を依頼し、専門の整備工場に、出来ればBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。◀

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれがないを検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
 - BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続けることは可能ですが、推奨されません。

転倒検知センサーが故障している



転倒検知センサーが故障。正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

転倒検知センサーが機能していません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

サイドスタンドモニター故障



サイドスタンドモニターが故障。引き続き走行可能。静止してエンジン停止! 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

サイドスタンドスイッチまたはその配線が損傷しています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していない



ABS インジケーター / 警告灯が点滅します。

考えられる原因:

自己診断が終了していないため、ABS 機能は使用できません。ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルを数m 走行させる必要があります。

- ゆっくりと発進します。自己診断が完了するまでABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS の故障



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。



ABS は制限付きで使用可能! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージにつながる可能性のある状況に

ついて、詳細情報をご確認ください (▶▶ 129)。

- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止



ABS インジケーター / 警告灯が点灯します。



ABS が故障! 引き続き走行可能。最寄りの専門の整備工場まで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できないことに注意してください。ABS エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (▶▶ 129)。



Off!



駆動制御はOFFの状態。

考えられる原因:

ASC/DTC システムが、ライダーによって OFF にされました。

- ASC/DTC 機能を ON にする(▶▶ 61)。

ASC/DTC の使用に制限



ASC/DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。



駆動制御の機能を制限している! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ASC/DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- ASC/DTC 機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC の故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください(▶▶ 131)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ASC/DTC の不具合



ASC/DTC インジケーター / 警告灯が点灯します。



駆動制御が故障! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ASC/DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷

センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。◀
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- ASC/DTC ならびにエンジンブレーキトルクレギュレーター

機能を使用できないことに注意してください。

- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC の故障につながりかねない状況についての詳細情報をご確認ください (▶▶ 131)。
- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

D-ESA の故障



ジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。



サスペンション調整が故障! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

D-ESA コントロールユニットが故障を検知しました。原因はショックアブソーバーまたはスプリング調整、あるいはその両方である可能性があります。この

状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があります。特に悪路では乗り心地が不快になります。それとは別に、スプリングプリロードの調整が誤っている可能性もあります。

- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

フューエルリザーブ容量に達している



リザーブ容量に達しました。近いうちにガソリンスタンドに向かってください。



警告


燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止

触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。

 フューエルリザーブ容量
約 3.5 l

- 給油手順 (▶▶ 120)。

ギヤが学習されていない

– シフトアシスト Pro^{OE} 装備



ギヤインジケーターが点滅します。ギヤシフトアシスト Pro は機能していません。

考えられる原因:

– シフトアシスト Pro^{OE} 装備

トランスミッションセンサーの学習が不完全です。

- アイドリングの学習を行うには、ニュートラル N に入れ、停止状態でエンジンを 10 秒以上作動させます。

- クラッチ操作によりすべてのギヤに切り替えて、それぞれのギヤで 10 秒以上走行します。
- » トランスミッションセンサーの学習が正常に行われると、ギヤインジケーターの点滅が止まります。
- トランスミッションセンサーの学習が完全に行われると、ギヤシフトアシスト Pro が記載通りに機能します (▶▶▶ 136)。
- 学習に失敗した場合は、BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に不具合の修理を依頼してください。

ハザードランプは ON の状態です



左フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。



右フラッシャーコントロールライトが緑に点滅します。

考えられる原因:

- ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。
- ハザードランプを操作する (▶▶▶ 59)。

サービス表示



サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さらにジェネラル警告灯 (黄) が点灯します。

サービス時期を過ぎた場合、チェックコントロールメッセージが黄色で表示されます。さらに、サービス、サービス時期、残余走行距離が、メニュー画面 MY MOTORCYCLE およびサービス実施時期にエクスクラメーションマーク (!) 付きで強調表示されます。



注意事項

サービス期日まで 1 カ月以上あるのにサービス表示が表示され

ている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。◀

サービス期限



が白で表示されます。

サービス実施時期! 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因:

走行距離または日付に基づくサービスの実施時期が来ています。

- サービスを定期的 (最適) に BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場を受けてください。
- » 車両の作動安全性および走行安全性が維持されます。
- » 車両価値の最適な維持が保証されます。

サービス時期を過ぎている



ジェネラル警告灯(黄)が点灯します。



が黄色で表示されます。

サービス時期超過! 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因:

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

- サービスを定期的
にBMW Motorrad ディーラー
(最適) または専門の整備工場
で受けてください。
- » 車両の作動安全性および走行安全性が維持されます。
- » 車両価値の最適な維持が保証されます。

取扱方法

イグニッションスイッチ / ステアリングロック	52	Laptimer	72
Keyless Ride によるイグニッション	53	シフトポイント用フラッシュ	73
電子式イモビライザー-EWS	57	盗難警報装置 (DWA)	74
イグニッションキルスイッチ	57	グリップヒーター	76
ライト	58	シート	77
ハザードランプ	59		
ウインカー	60		
トラクションコントロール (ASC/DTC)	61		
電子調整式サスペンション (D-ESA)	62		
走行モード	64		
走行モード PRO	68		
クルーズコントロール	69		

イグニッションスイッチ / ステアリングロック

キー

車両キーは 2 本あります。キーを紛失した場合は、電子式イモビライザー (EWS) に関する注意事項に従ってください (▶▶ 57)。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

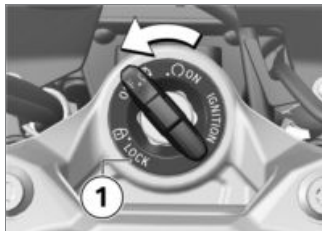
ーケース^{OA} 装備

ートップケース^{OA} 装備

ご要望により、ケースおよびトップケースも同じキーで操作することができます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場にお問い合わせください。

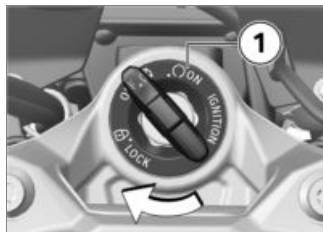
ステアリングロックをロックする

- ハンドルを左に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション 1 に回します。
 - » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
 - » ステアリングロックがロックされます。
 - » キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする



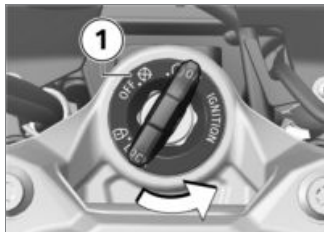
- キーをポジション 1 に回します。
 - » ポジション / パーキングライトとすべての機能回路が ON になります。
 - » エンジンを始動することができます。
 - » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 112)
 - » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 112)
 - » ASC 自己診断が実施されません。(▶▶ 113)

- 走行モードPro^{OE} 装備
- » DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 113)◀

ウェルカムライト

- イグニッションを ON にします。
- » ポジション / パーキングライトが短時間点灯します。

イグニッションを OFF にする



- キーをポジション **1** に回します。
- » ライトが OFF になります。

- » ステアリングロックが解除されます。
- » キーを抜き取ることができます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用可能です。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。

Keyless Ride によるイグニッション

- Keyless Ride^{OE} 装備

キー

注意事項

無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。無線キーまたは予備キーが検出された場合は消えます。無線キーまたは予備キーが認識されない場合は、一時的に点灯します。◀

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) に関する注意事項に従ってください (▶▶ 57)。


イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シートロック、トップケース、ケースは手動で操作することができます。

注意事項

無線キーが手に届く範囲にないと (ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。

無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になります。

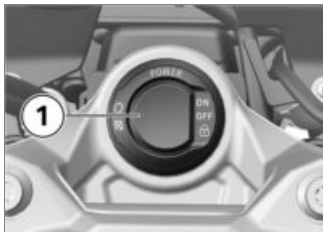
無線キーを身に付けておく (ジャケットのポケットなど) か、または予備キーを携行することをお勧めします。◀

 Keyless Ride の走行可能 距離無線キー
- Keyless Ride ^{OE} 装備
約 1 m<

ステアリングロックをロックする

前提条件

ハンドルバーを左方向へ回します。無線キーは受信範囲内です。



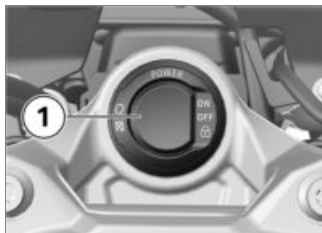
- ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックが音をたててロックします。

- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短く押します。

イグニッションを ON にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の**2**通りの方法で ON にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 112)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 112)
- » ASC 自己診断が実施されません。(▶▶ 113)

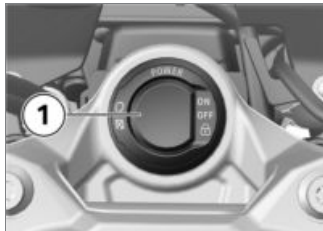
バリエーション 2:

- ステアリングロックがロックされている状態で、ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックがロック解除されます。
- » ポジション / パーキングライトとすべての機能回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 112)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 112)
- » ASC 自己診断が実施されます。(▶▶ 113)

イグニッションを OFF にする

前提条件

無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の2通りの方法で OFF にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
 - » ライトが OFF になります。
 - » ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:

- ハンドルを左に回します。
- ボタン **1** を押し続けます。
 - » ライトが OFF になります。
 - » ステアリングロックがロックされます。

無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失

- キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (**EWS**) に関する注意事項に従ってください。
- 走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。
- 無線キーのバッテリーが空になっている場合、無線キーを折りたたんでシート下のリングアンテナの中に潜り込ませれば、車両を始動させることができます。




- シートを取り外す(▶▶▶ 77)。
- スペアキーまたはバッテリーが空になって折りたたんだ無線キー **1** を、リングアンテナ **2** に潜り込ませます。



注意事項

スペアキーまたは閉じられている空の無線キーは、リングアンテナの開口部に収める必要があります。◀


 エンジン始動をその間に
行わなければならない時
間。その後、再度ロック解除
を行う必要があります。

30 s

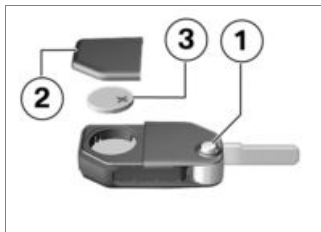
- » Pre-Ride-Check が実行されま
す。
- キーが検知されました。
- エンジンを始動することができ
ません。
- エンジンを始動する(▶▶ 111)。

無線キーのバッテリー交換 前提条件

バッテリーが弱くなっているた
め、無線キーが反応しません。

 無線キーバッテリーが弱
い。集中ロック機能が制限
されている。バッテリーを交換
すること。

- バッテリーを交換します。



- ボタン **1** を押します。
» キーが開きます。
- バッテリーカバー **2** を押し上
げます。
- バッテリー **3** を取り外しま
す。
- 使用済みバッテリーは法規に
従って廃棄処分します。バッ
テリーを家庭ごみとして捨てな
いでください。

重要事項

不適切なバッテリー、または入
れ方が正しくないバッテリー
コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してく
ださい。
- バッテリーを組み込む際に、
極性が正しいか確認してくだ
さい。◀
- 新しいバッテリーをプラスター
ミナルを上にして組み込みま
す。

 バッテリータイプ

Keyless Ride 無線キー

CR 2032

- バッテリーカバー **2** を取り付
けます。
» メーターパネルで LED (赤)
が点滅します。
» 無線キーは再び機能するこ
とができます。

電子式イモビライザーEWS

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションスイッチ / 無線ロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。車両キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。



注意事項

その他の車両キー（スペアキーなど）が始動に使用されている車両キー / 無線キーと一緒に取り付けられていると、電子機器が「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。

その他の車両キー（スペアキーなど）は必ず車両キー / 無線キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失したときには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

使用停止となった車両キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった車両キーを再度登録し直すことは可能です。

スペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。車両キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

イグニッションキルスイッチ



- 1 イグニッションキルスイッチ



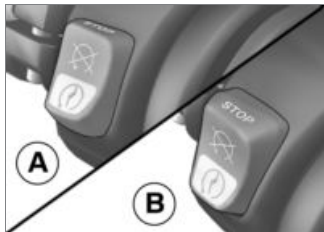
警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンを素早く簡単に停止させることができます。



- A** エンジン停止
B 通常の操作ポジション

ライト

ロービームおよびポジションライト / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、ポジション / パーキングライトは自動的に点灯します。



注意事項

ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

ロービームは以下の条件下で自動的に ON になります：

- エンジンを始動した場合。
- イグニッション ON の状態で車両が動かされる場合。



注意事項

イグニッションを ON にして、ハイビームあるいはパッシングスイッチを操作すると、エンジンを停止した状態でもライトを点灯させることができます。◀

ハイビームとパッシングライト

- イグニッションを ON にする(➡ 52)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

フォロミーホームライト

- イグニッションを OFF にします。



- イグニッションをオフにした直後、スイッチ **1** を後方へ引き、ホームライトが点灯するまで引いたまま維持します。
- » 車両照明が1分間点灯し、自動的に再び消灯します。
- これは、駐車後に家のドアまでの通路を照らすためなどに使用することができます。

パーキングライト

- イグニッションを OFF にする(▶▶▶ 53)。

- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

ハザードランプ

ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にします。



注意事項

ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するよう to してください。◀



注意事項

作動可能状態オン時にターンインジケーターボタンが押されると、操作されている間は点滅機能がハザードライト点灯機能に取って代わります。ターンインジケーターボタンが押されなくなると、ハザードライト点灯機能が再び有効になります。◀



- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン **1** を操作します。
- » イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン **1** を再度操作します。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にします。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置にします。

コンフォートターンインジケータ



- ボタン**1**を右または左に押すと、以下の条件ではターンインジケータが自動的にオフになります：
- 速度 30 km/h 未満：50 m 走行後。
 - 速度 30 km/h～ 100 km/h：速度に応じた走行距離後または加速時。
 - 速度 100 km/h 以上：5 回の点滅後。

ボタン**1**を少し長く右または左に押ししても、速度に応じた走行距離

到達後にターンインジケータ
は自動的にオフになります。

トラクションコントロール (ASC/DTC)

ASC/DTC 機能を OFF にす る

- イグニッションを ON にす
る(▶▶ 52)。

注意事項


ASC/DTC 機能は走行中も
OFF にすることができます。 ◀



- ASC/DTC インジケータ
および警告灯の表示が変化する


まで、ボタン **1** を押し続けま
す。

ボタン **1** を操作した直後にASC/
DTC システムステータス ON が
表示されます。

 ASC/DTC インジケータ
 / 警告灯が点灯します。

可能性のある ASC システムス
テータスOFF! が表示されます。

- ASC/DTC システムステータス
が切り替わったら、ボタン **1**
から手を放します。

 ASC/DTC インジケータ
 / 警告灯が引き続き点灯し
ます。

新しいASC/DTC システムステ
ータス OFF! が短時間表示されま
す。


» ASC/DTC 機能は OFF の状態
です。

ASC/DTC 機能を ON にする




- ASC/DTC インジケータ
および警告灯の表示が変化する
まで、ボタン **1** を押し続けま
す。

ボタン **1** を操作した直後にASC/
DTC システムステータス OFF!
が表示されます。


 ASC/DTC インジケータ
 / 警告灯が消灯します。
自己診断が完了していない場合
には点滅し始めます。

可能性のある ASC システムス
テータスON が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。
-  ASC/DTC インジケータ / 警告灯は消灯したままか、点滅を続けます。

新しいASC/DTC システムステータス ON が短時間表示されません。

- ASC/DTC 機能は ON の状態です。
- コーディングプラグが装着されていない場合には、代わりにイグニッションを一旦 OFF にしてから再度 ON にすることもできます。

 イグニッションを OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後にASC/DTC インジケータ / 警告灯が引き続き点灯する場合には、ASC/DTC が故障しています。

min 5 km/h

- トラクションコントロール (ASC/DTC) に関する詳しい情報については「技術情報」の章を参照してください。
- ▶ トラクションコントロールはどのように機能するのでしょうか？ (▶▶ 130)

電子調整式サスペンション(D-ESA)

– Dynamic ESA^{OE} 装備

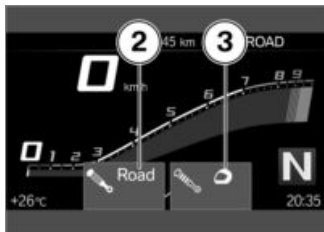
調整方法

電子調整式サスペンションDynamic ESAにより、リヤホイールのダンピングを路面状況に合わせて快適に調整することができます。ダンピング調整は2種類、スプリングプリロードは3段階あります。

サスペンション設定を表示する



- イグニッションを ON にする(▶▶ 52)。
- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。



ダンピング **2** およびスプリングプリロード **3** 用サスペンション設定が表示されます。

» 少し経つと、表示は再び自動的に消えます。

サスペンションを調整する

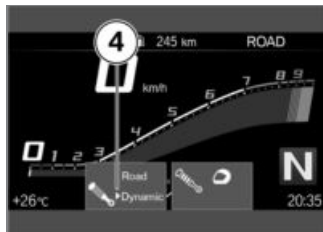
- イグニッションを ON にする(▶▶ 52)。



- 現在の設定を表示させるには、ボタン **1** を短押しします。ショックアブソーバーを設定するには：
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短く押します。

注意事項

ダンピングの調整は、走行中もできます。◀



選択矢印 **4** が表示されます。

» 選択矢印 **4** はステータスが切り替わった後に非表示になります。

以下の設定が可能です：

- ROAD: 快適なオンロード走行用のダンピング
- DYNAMIC: ダイナミックなオンロード走行用のダンピング



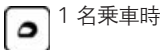
スプリングプリロードを設定するには：

- エンジンを始動する(111)。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し長く押します。

注意事項

走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。◀

以下の設定が可能です：



1 名乗車時

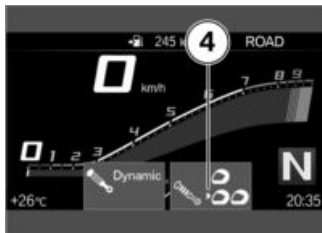


1 名乗車 + 荷物積載時



2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

調整ができない場合は、以下のメッセージが通知されます： 荷重調整機能は静止状態でのみ使用可。



選択矢印 **4** が表示されます。

- » 選択矢印 **4** はステータスが切り替わった後に非表示になります。

- 走行を続行する前に、調整作業が終了するのを待ちます。
- » ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーおよびスプリングプリロードが設定されます。

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルの使用についてのシナリオを作りました：

標準装備

- RAIN: 雨でぬれた路面でのライディング。
- ROAD: 乾いた路面でのライディング。

– 走行モードPro^{OE} 装備

走行モード Pro を使用

- DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行。
- DYNAMIC PRO: ライダーによる設定を考慮した上での、乾いた路面でのダイナミックな走行。

これらのシナリオでは、エンジン特性曲線、ABS 制御、ASC/DTC 制御、エンジンプレーキトルクレギュレーターによる最適な相互作用がそれぞれ用意されています。

注意事項

選択可能な走行モードに関する詳しい情報については、「技術情報」の章を参照してください。◀

– Dynamic ESA^{OE} 装備

サスペンション調整も選択されたシナリオに合わせることができます。

走行モードを選択する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 52)。



- ボタン **1** を押します。



現在有効な走行モード **2** はバックグラウンドに移動し、選択可能な最初の走行モード **3** が表示されます。ガイドサポート **4** に、利用可能な走行モード数が表示されます。



- 選択矢印の下に希望する走行モードが表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し押します。

以下の走行モードから選択することができます：

- RAIN: 雨で濡れた路面での走行用。
- ROAD: 乾いた路面での走行用。

- 走行モードPro^{OE} 装備

さらに、以下の走行モードを選択することができます：

- DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行用。◁

- 走行モードPro^{OE} 装備
取付け済みのコーディングプラグを装備：

- DYN PRO: 乾いた路面でのスポーティな走行用。◁

» 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。

» 走行中に新しい走行モードを ON するには、以下の前提条件が必要です：

- スロットルグリップがアイドル位置にある。
- ブレーキが操作されていない。
- クルーズコントロールは作動解除されています。

» 新しい走行モードが ON になると、時計が再び表示されます。

» 設定された走行モードは、エンジン特性曲線、ABS、ASC/DTC、Dynamic ESA の適切な調整も含めて、イグニッションを OFF にした後も維持されません。

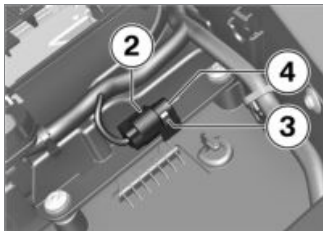
コーディングプラグを取り付ける

- 走行モードPro^{OE} 装備

- イグニッションを OFF にする(▶▶ 53)。
- シートを取り外す(▶▶ 77)。



- ツールキットホルダー **1** を後方から上方向へ倒して取り外します。



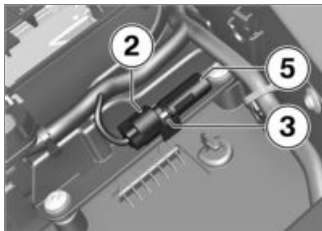
- プッシュ **2** をクランプ **3** から取り外します。

重要事項

空いているコネクタに汚れや水分が入り込む

機能障害

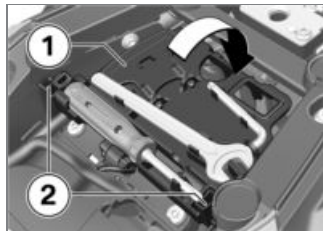
- コーディングプラグを外した後、保護キャップを再び組み込みます。◀
- 保護キャップ **4** を引いて取り外します。



- コーディングプラグ **5** をプッシュ **2** に差し込み、クランプ **3** に取り付けます。

注意事項


コーディングプラグまたはカバーキャップは、ツールキットと共にシート内に保管します。◀



- ツールキットホルダー **1** をブラケット **2** に組み込み、下方に倒します。
- シートを取り付ける(▶▶ 78)。
- イグニッションを ON にします。

注意事項

コーディングプラグが差し込まれている状態では、非作動の走行安全システムはイグニッションの ON / OFF 後も非作動であり続けます。◀

 コーディングプラグのアイコンが表示されます。

- 走行モードを選択する(▶▶▶ 65)。

走行モードPRO

– 走行モードPro^{OE} 装備

走行モードPRO を設定する

- コーディングプラグを取り付ける(▶▶▶ 66)。
- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 52)。
- メニュー設定、車両設定 を呼び出します。
- ▶ 走行モード DYNAMIC PRO を適合させることができます。
- 走行モードを選択し、確定します。

Dynamic Pro を調整する

– 走行モードPro^{OE} 装備

- 走行モードPRO を設定する(▶▶▶ 68)。



システムエンジン が選択されています。現在の設定がグラフ **1** として、システムに関する説明文 **2** 付きで表示されます。

- システムを選択し、確定します。



可能な設定 **3** およびそれに関する説明 **4** に目を通すことができます。

- システムを調整します。
- ▶ システムエンジン、DTC、ABS は同じ方法で調整することができます。
- 設定は工場設定にリセットすることができます。
- 走行モードの設定をリセットする(▶▶▶ 68)。

走行モードの設定をリセットする

- 走行モードPRO を設定する(▶▶▶ 68)。

- リセット を選択し、確定します。
- » 走行モード DYNAMIC PRO には以下の工場設定が適用されません：
 - DTC: DYNAMIC PRO
 - ABS: Dynamic
 - エンジン: Dynamic

クルーズコントロール

- クルーズコントロール^{OE} 装備

設定時の表示(制限速度情報が無効)



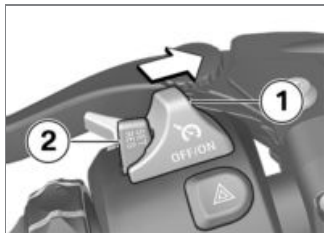
クルーズコントロールのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

設定時の表示(制限速度情報が有効)



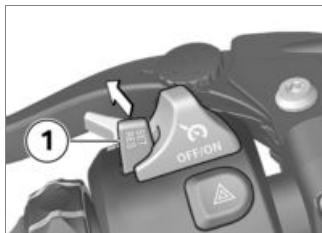
クルーズコントロールのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータス欄に表示されます。

クルーズコントロールを ON にする



- スイッチ **1** を右方向へずらし
ます。
- » ボタン **2** は操作可能です。


車速を設定する



- ボタン **1** を前方向へ短押しし
ます。

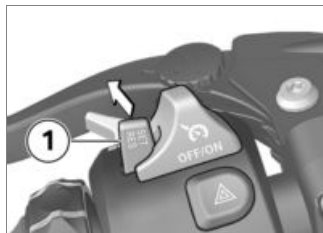
 クルーズコントロールの
調整範囲

30...210 km/h

 クルーズコントロールイン
ジケーターが点灯します。

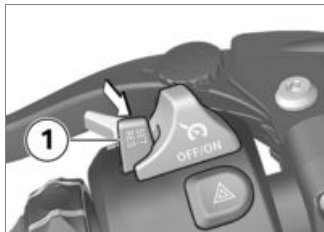
- » その時の車速を維持し、記憶し
ます。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短押しし
ます。
- » 押すたびに速度が 1～
2 km/h ずつ加速します。
- ボタン **1** を前方へ押し続けま
す。
- » 車速が無段階に加速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作され
ないと、到達した車速が維持さ
れ、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短押しします。
- » 操作ごとに速度が 1~2 km/h ずつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押し続けます。
- » 車速が無段階に減速します。
- » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを OFF にする

- クルーズコントロールを作動解除するには、ブレーキ、クラッ

チまたはスロットルグリップ（スロットルグリップを基本位置より先まで戻す）を操作します。

- » クルーズコントロールインジケーターが消灯します。

前回の速度を再設定する



- ボタン **1** を後方へ短押しして、保存されている車速に再び設定します。

注意事項

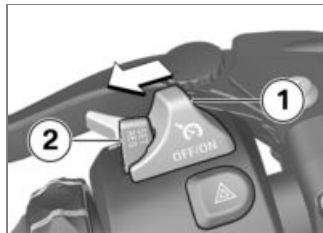
スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度

以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。◀



クルーズコントロールインジケーターが点灯します。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ **1** を左方向へずらしません。
- » システムが OFF になります。
- » ボタン **2** がブロックされています。

Laptimer

– 走行モードPro^{OE} 装備

時間計算を開始する

- メニューSport を呼び出し、表示Sport 2 に切り替えます。
- エンジンを始動させます。



- ボタン **1** を押します。
- » 時間計算が進行中です。
- 次の走行ラップの記録を開始するため、スタートライン/ゴールラインを越えるごとに、ボタン **1** を改めて押します。
- » 前の走行ラップのデータが保存されます。

- » 現在のラップのタイムが00:00:00 で再開します。
- » 走行ラップの停止時間は、現在の走行ラップの進行中のタイムに切り替わる前に、調整可能な表示時間用に表示されます。
- » 記録中に表示モードが閉じられても、記録はそのまま続けて行われます。

時間計算を終了し、タイムを管理する

前提条件

表示Sport 2 が表示されます。

- MENU ロッカーボタン下側を押します。
- » メニューLAPTIMER が表示されます。
- 記録の終了により、進行中の記録を終了することができます。
- ラップにより、現在のラップタイムおよび走行データを表示出すことができます。99 ラッ

プを保存可能です。その間にラップが削除されない場合、さらに続くラップは最初のラップを上書きしていきます。

- すべてのラップを削除により、すべてのラップを削除することができます。
- Best Ever を削除により、過去のベスト走行ラップ (Best Ever) をリセットすることができます。

ラップタイマーを調整する

- メニュー設定、車両設定、ラップタイマー を呼び出します。
- » 以下の設定が可能です：
- デバウンス時間：パッシングライトが操作された場合、ラップタイム測定に影響を及ぼすことなく、この時間内にパッシングライトを再度操作することができます。
- 表示時間：現在のラップタイムが表示される前に、この時間内にラップの停止時間が表示されます。

- 記録: どのベストタイムを基準として表示するかを選択。
Best: 現在の記録のベストタイム、または、Best Ever: 過去に測定されたベストタイム。
- 進行中のベストラップ: この機能が ON になっている場合には、前回のラップタイムと基準タイムの差は表示されず、現在のラップタイムと基準タイムの差が表示されます。

過去のベスト走行ラップ

過去のベスト走行ラップ (Best Ever) は記録されている全走行ラップで最速のものであり、さらに速いラップが記録されるとただちに更新されます。

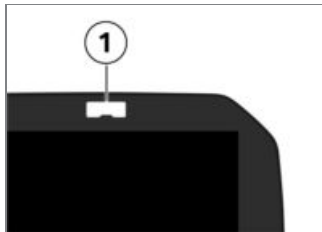
過去のベスト走行ラップは、記録されている走行ラップが削除されるときにも、登録されたまま残ります。これにより、他の時点において新しい走行を記録し、以前の走行のベスト走行ラップと比較することができます。

過去のベスト走行ラップは、メニュー-LAPTIMER で削除することができます。

過去のベスト走行ラップが、登録されている記録からのもの場合には、対応するラップ番号が一緒に表示されます。過去のベスト走行ラップにラップ番号がない場合には、その過去のベスト走行ラップはすでに削除されている記録からのものです。

シフトポイント用フラッシュ

シフトポイント用フラッシュをオンおよびオフにする



- メニュー-Settings、車両設定 を呼び出します。
- シフトポイント を ON または OFF にします。

シフト表示を調整する

- 機能シフトポイント を ON にします。
- メニュー-設定、車両設定、設定 (シフトポイント の下) を呼び出します。

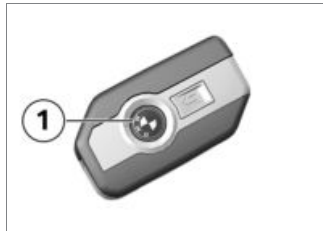
- » 以下の設定が可能です：
- 回転数 (開始)
- 回転数 (終了)
- 明るさ
- 周波数。点滅周波数 0 Hz は常時点灯です。
- » 明るさと点滅周波数の変化は、シフトポイント用フラッシュの短時間の点灯または点滅で明示されます。

盗難警報装置(DWA)

作動

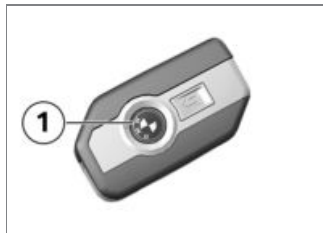
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- イグニッションを ON にする(▶▶ 52)。
- DWA を調整する(▶▶ 76)。
- イグニッションを OFF にします。
- » DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。

- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » DWA は ON になっています。
- Keyless Ride^{OE} 装備



- イグニッションを OFF にします。
- 無線キーのボタン **1** を 2 回押します。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。
- » ウィンカーが 2 回点灯します。
- » 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。

- » DWA は ON になっています。



- モーションセンサーをオフにするには (モーターサイクルを列車で輸送し、激しい動きでアラームが作動するおそれがある場合など)、無線キーのボタン **1** をオンになる間に再度押します。
- » ウィンカーが 3 回点灯します。
- » 確認音が 3 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » モーションセンサーはオフの状態です。

アラーム信号

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

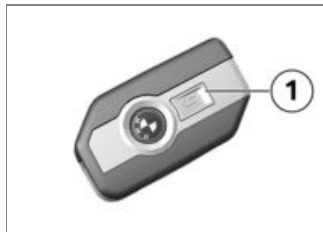
DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- DWA を車両バッテリーから切り離す (DWA バッテリーが電源供給。アラーム音のみ、ウインカーの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。

- Keyless Ride^{OE} 装備



発報しているアラームは、無線キーのボタン **1** を押すことで中断できます (DWA の作動解除不要)。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

DWA LED のライト信号：

- 1 回点滅：モーションセンサー
1

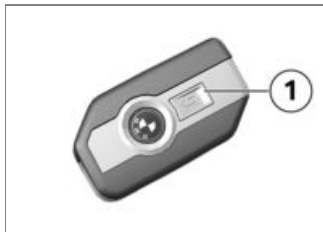
- 2 回点滅：モーションセンサー
2
- 3 回点滅：不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が切り離されている
- 5 回点滅：モーションセンサー
3

作動解除

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- イグニッションキルスイッチを通常の操作ポジションにします。
- イグニッションを ON にします。
 - » ウインカーが 1 回点灯します。
 - » 操作音が 1 回鳴ります (プロگرامミングされている場合)。
 - » DWA は OFF の状態です。

– Keyless Ride^{OE} 装備



- 無線キーのボタン **1** を 1 回押します。

注意事項

アラーム機能を無線キーで作動解除した後、イグニッションを ON にしない場合、「イグニッション OFF 後に作動」がプログラミングされていると、アラーム機能は 30 秒後に再び自動で作動します。◀

- ◻ ウィンカーが 1 回点灯します。
- ◻ 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。

◻ DWA は OFF の状態です。

DWA を調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 52)。
- メニュー設定、車両設定、盗難警報装置 を呼び出します。
- ◻ 以下の設定が可能です：
 - 警告音 を調整する
 - 傾斜センサー を ON および OFF にする
 - 確認音 を ON および OFF にする
 - 自動設定 を ON および OFF にする
 - 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- ◻ 調整方法 (▶▶ 76)◀

調整方法

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

警告音：立ち上がりおよび立ち下がりまたは間欠的なアラーム音を設定します。

傾斜センサー：傾斜センサーを作動させ、車両の傾きをモニター

します。DWA はホイール盗難や牽引などの際に反応します。

注意事項

車両の輸送時には傾斜センサーを作動解除し、DWA の発動を回避します。◀

確認音：DWA ON / OFF 後のウィンカーの点灯に確認アラーム音を加えます。

自動設定：イグニッション OFF 時にアラーム機能を自動的に ON にします。

グリップヒーター

– グリップヒーター^{OE} 装備

グリップヒーターの操作

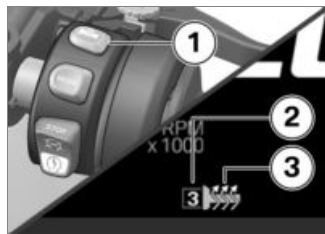
- エンジンを始動する(▶▶ 111)。

注意事項

グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀

注意事項


低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀





- ボタン **1** を繰り返し押し、希望の暖房レベル **2** をグリップヒーターアイコン **3** の前に表示させます。

グリップは 3 段階で暖めることができます。3 段階目ではグリップを急速に暖めることがで

きます。その後、2 段階目または 1 段階目に切り替えてください。

 ヒーター出力 75%

 ヒーター出力 55%

 ヒーター出力 35%

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

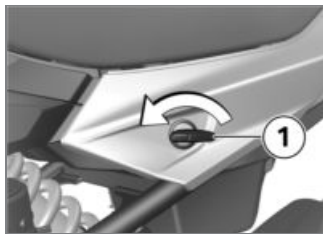
- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を、グリップヒーターのアイコン **3** がディスプレイに表示されなくなるまで繰り返し押します。

シート

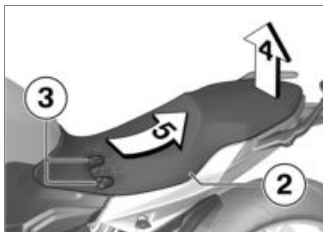
シートを取り外す

前提条件

モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。

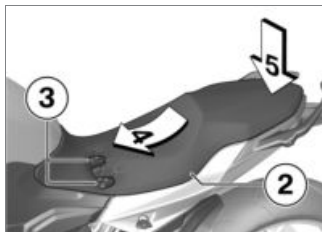


- シートロック **1** を、車両キーを使用して反時計回り(左回り)に回します。
 - » ベンチシートがロック解除されます。



- シート 2 を矢印の方向 4 に持ち上げます。
- シート 2 を矢印の方向 5 にホルダー 3 から引きます。
- シート 2 を汚れ等のないきれいな面の上に置きます。

シートを取り付ける



- シート 2 矢印の方向に 4 ホルダー 3 の上にずらします。
- ベンチシートを矢印方向 5 へ力を入れて押します。
- » かみ合う音が聞こえるようにベンチシートをロックします。

TFT ディスプレイ

一般的な情報	80
原理	81
Pure Ride 画面	88
一般的な設定	89
Bluetooth	90
My Motorcycle	93
オンボードコンピューター	96
ナビゲーション	96
メディア	99
電話	99
ソフトウェアバージョンを表示する	100
ライセンス情報を表示する	100

一般的な情報

警告



警告

走行時もしくはエンジン作動時のスマートフォン操作

事故の危険

- それぞれ適用されている道路交通規則を遵守してください。
- 走行時には使用しないでください(ハンズフリーユニットを介する通話など操作を必要としない使用は除く)。◀



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。

- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

Connectivity 機能

Connectivity 機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity 機能は、TFT ディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます(▶▶ 91)。Connectivity 機能に関する詳細情報はこちらを参照してください：bmw-motorrad.com/connectivity



注意事項

燃料タンクが携帯端末機器と TFT ディスプレイの間にあると、Bluetooth 接続が制限される可能性があります。BMW Motorrad は、携帯端末機器を燃料タンクの上(ジャケット

ポケットの中など) に収納することをお勧めします。◀



注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。◀

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected App で、利用情報および車両情報を呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、App を携帯端末機器にインストールして、TFT ディスプレイと接続しておく必要があります。App を使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機

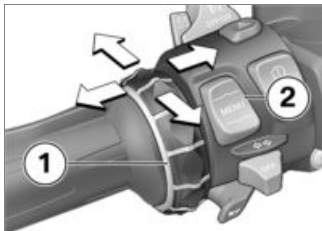
器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

本書の記述について

編集終了後に TFT ディスプレイが更新されることがあります。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。更新情報はこちらを参照してください：

bmw-motorrad.com/service

原理 操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー **1** および MENU ロッカーボタン **2** で行います。状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に戻す：

- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。

- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に戻す：

- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- 私の車両メニューで：メニュー画面を先にめくります。

マルチコントローラーを右に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。

- 選択を確定します。
- 設定を確定します。
- メニューステップを先にめくり
ます。
- リストで右にスクロールしま
す。
- 私の車両メニューで：メニュー
画面を先にめくります。

MENU ロッカーボタンの機能

注意事項

メニューナビゲーションが呼び
出されていない場合、ナビゲー
ション指示はダイアログ形式で
表示されます。モメンタリボタ
ン MENU の操作は一時的に制限
されます。◀

MENU の上を短押しする：

- メニュー画面で：一階層上に
切り替えます。
- Pure Ride 画面で：ライダー情
報ステータス欄の表示を切り替
えます。

MENU の上を長押しする：

- メニュー画面で：Pure Ride 画
面を開きます。
- Pure Ride 画面で：操作焦点を
Navigator に切り替えます。

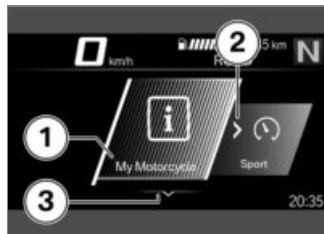
MENU の下を短押しする：

- 一階層下に切り替えます。
- 最下層に達した場合は機能しま
せん。

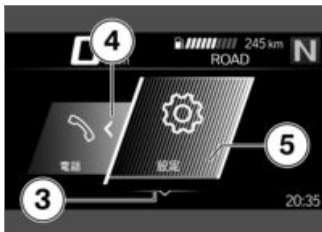
MENU の下を長押しする：

- MENU ロッカーボタンの上を
長押ししてメニューを切り替
えた後に、前回呼び出したメ
ニューに戻ります。

スタートメニューでの操作情 報



操作情報は、どのような操作が
可能 / 不可能であることを示しま
す。



操作情報の意味：

- 操作情報 1: 左端に達していません。
- 操作情報 2: 右にめくることができます。
- 操作情報 3: 下にめくることができます。
- 操作情報 4: 左にめくることができます。
- 操作情報 5: 右端に達していません。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

- 操作情報 1: 現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンはサブメニュー階層を示します。2つのアイコンはサブメニュー階層が2つ以上あることを示します。上の階層に戻るかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。

- 操作情報 2: さらにサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 3: 項目の数が表示できる数を超えています。

Pure Ride 画面を表示する

- MENU ロッカーボタン上側を長押しします。

機能を ON または OFF にする



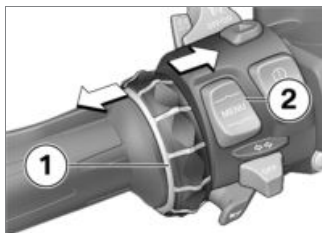
メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能が ON または OFF であるかを示しています。メニュー項目の後ろにあるアク

ションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何がどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

- アイコン **1** は、機能が ON であることを示しています。
- アイコン **2** は、機能が OFF であることを示しています。
- アイコン **3** は、機能を OFF にできることを示しています。
- アイコン **4** は、機能を ON にできることを示しています。

メニューの呼出し



- Pure Ride 画面を表示する(▶▶ 83)。
- ボタン **2** を下方へ短く押します。

以下のメニューを呼び出すことができます：

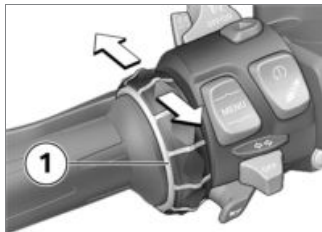
- My Motorcycle
- ナビゲーション
- メディア
- 電話
- 設定
- マルチコントローラー **1** を右に繰り返し短押しして、希望のメニュー項目をマークします。

- ボタン **2** を下方へ短く押します。

注意事項

メニュー設定は停車時のみ呼び出すことができます。◀

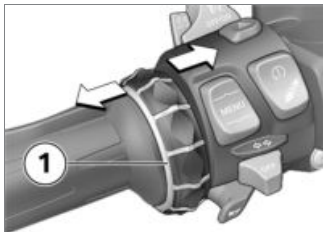
リストのカーソルを移動させる



- メニューの呼出し(▶▶ 84)。
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー **1** を下に回します。
- リストのカーソルを上を移動させるには、希望の項目がマーク

されるまで、マルチコントローラー **1** を上に回します。

選択を確定する



- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー **1** を右に短押しします。

前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロッカーボタンを長押しします。
- » 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

操作対象の切り替え

– NAV 取付けキット OE 装備

Navigator が接続されている場合、Navigator と TFT ディスプレイの操作を切り替えることができます。

操作対象を切り替える

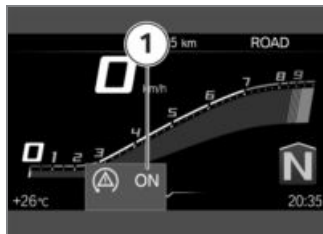
– NAV 取付けキット OE 装備

- ナビゲーションユニットをしっかりと取り付ける(▶▶▶ 179)。
- Pure Ride 画面を表示する(▶▶▶ 83)。
- MENU ロッカーボタン上側を長押しします。
- » 操作焦点が Navigator または TFT ディスプレイに切り替わります。上部ステータスバー左側に、その都度、有効になっている機器がマークされています。操作対象を改めて切り替えるまで、操作の対象はその都度有効になっている機器となります。

» ナビゲーションシステムを操作する (▶▶▶ 180)

システムステータスの表示

機能が ON または OFF になると、システムステータスは下側のメニュー領域に表示されます。



システムステータスの意味の例：

– システムステータス **1**：ASC/DTC 機能が ON です。

ライダー情報ステータス欄の表示を切り替える

前提条件

モーターサイクルを立てます。
Pure Ride 画面が表示されていること。

- イグニッションを ON にする(▶▶ 52)。
- » TFT ディスプレイではボードコンピューター(例TRIP 1)およびトラベルボードコンピューター(例TRIP 2)からの公道の運転に必要な全ての情報が提供されます。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。
- ライダー情報ステータスバーの内容を選択する(▶▶ 87)。



- ボタン **1** を長押しして、Pure Ride 画面を表示させます。
- ボタン **1** を繰り返し短押しして、上側のステータス欄 **2** の値を選択します。

次の値を表示可能です：

- オドメーター Total
- トリップメーター 1 TRIP 1
- トリップメーター 2 TRIP 2



平均燃費 1



平均燃費 2



走行時間 1



走行時間 2



休止時間 1



休止時間 2



平均車速 1



平均車速 2



タイヤ空気圧



燃料残量メーター

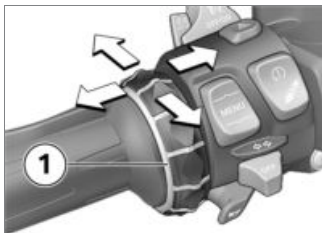


走行可能距離

ライダー情報ステータスバーの内容を選択する

- メニュー設定、表示、コンテンツステータスライン を呼び出します。
- ご希望の表示を ON にします。
- » ライダー情報ステータスバーでは、選択した表示の中で切り替えることができます。表示が選択されていない場合は、走行可能距離のみが表示されません。

設定を行う



- 希望の設定メニューを選択して確定します。
- マルチコントローラー **1** を下に回して、希望の設定をマークします。
- 操作情報がある場合は、マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
- 操作情報がない場合は、マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- » 設定が保存されました。

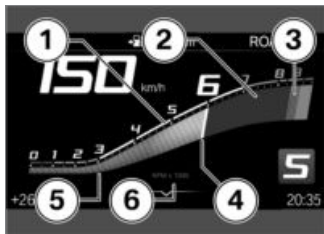
制限速度情報を ON または OFF にする

前提条件

車両は互換性のある携帯端末機器と接続されています。モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされています。

- 速度制限の情報 は現在許可されている最高速度を表示します。
- メニュー設定、表示 を呼び出します。
- 速度制限の情報 を ON または OFF にします。

Pure Ride 画面 エンジン回転数表示



- 1 目盛り
- 2 低回転域
- 3 高回転域 / レッドゾーン
- 4 指針
- 5 第 2 指針
- 6 回転数表示の単位：
1000 rpm

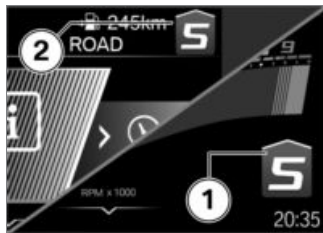
走行可能距離



- 走行可能距離 1 は、残りの燃料であとどのくらいの距離を走行できるかを示します。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。
- モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、傾いているために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、走行可能距離の再算出はサイドスタンドが格納されている状態でのみ行います。

- 走行可能距離はフューエルリザーブ容量に達した後に、警告と共に表示されます。
- 燃料補給後に、フューエルレベルがフューエルリザーブ容量を超えている場合、走行可能距離は新たに算出されます。
- 算出された走行可能距離は、概算数値です。

シフトアップ推奨



- シフトアップ推奨は、Pure Ride 1 またはの画面またはステイタスバー 2 において、経済的に最適な時点でシフトアップを勧める信号を発します。

一般的な設定

音量を調整する

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する(▶▶▶ 92)。
- 音量を上げる：マルチコントローラーを上に戻します。
- 音量を下げる：マルチコントローラーを下に戻します。
- ミュートにする：マルチコントローラーを一番下まで回します。

日付を設定する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 52)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付の設定を呼び出します。
- 日、月 および年 を調整します。
- 設定を確定します。

日付の表示形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付表示方法を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 52)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻の設定を呼び出します。
- 時間 および分 を調整します。

表示時刻形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻表示方法を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

GPS 同調を ON または OFF にする

– NAV 取付けキット^{OE} 装備

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻 を呼び出します。
- GPS 同期 を ON または OFF にします。
 - ▶ Navigator で対応するオプションが有効になっている場合は、Navigator の時間が引き継がれます。
 - ▶ 特別機能 (▶▶▶ 183)

表示単位を設定する

- メニュー設定、システム設定、単位 を呼び出します。
- 設定可能な単位は以下の通りです：
- 車速
 - 燃費
 - 圧力
 - 温度

言語を設定する

- メニュー設定、システム設定、言語 を呼び出します。

設定可能な言語は以下の通りです：

- ドイツ語
- 英語 (UK)
- 英語 (US)
- スペイン語
- フランス語
- イタリア語
- オランダ語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- トルコ語
- ロシア語
- ウクライナ語
- 中国語
- 日本語

明るさを調整する

- メニュー設定、表示、明るさ を呼び出します。
- 明るさを調整します。

» ディスプレイの明るさは、所定の周囲輝度を下回ると設定されている値に調光されます。

すべての設定をリセットする

- メニュー設定 のすべての設定を工場設定にリセットすることができます。
- メニュー設定 を呼び出します。
- すべてリセットする を選択し、確定します。

以下のメニューの設定がリセットされます：

- 車両設定
- システム設定
- 接続
- 表示
- 情報

» 現在ある Bluetooth 接続は削除されません。

Bluetooth

近距離無線技術

Bluetooth 機能は、国別の仕様や状況により、提供されない場合があります。

Bluetooth では、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth 機器はショートレンジデバイス（限定された受信可能距離で伝送）として、使用料のかからない 2.402 GHz～ 2.480 GHz の ISM 帯（産業、科学および医療帯）で通信します。この機能は世界中で免許不要で利用することができます。

Bluetooth は、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されてはいるものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が障害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を 1 つの Bluetooth ネットワークで利用している場合、あら

ゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。

考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されている Bluetooth 標準規格が不十分な機器。
- 周辺に他の Bluetooth 対応機器がある。

Pairing

2 つの Bluetooth 機器間の通信接続を確立する前に、双方の機器がお互いを認識できている必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスはメモリされるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

- ペアリングの際、TFT ディスプレイは自分の受信範囲内にある他の Bluetooth 対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。
- 当該機器の Bluetooth 機能が ON になっていること
 - 当該機器が他から「検知可能」になっていること
 - ユニットはレシーバーとして A2DP プロファイルをサポートしていなければなりません。
 - その他の Bluetooth 対応機器が OFF になっていなければなりません (携帯電話やナビゲーションシステムなど)。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

ペアリングを行う

- メニュー設定、接続 を呼び出します。

» メニュー接続 では、Bluetooth 接続を設定、管理、削除することができます。以下の Bluetooth 接続が表示されます：

- 携帯機器
 - ライダー
 - パッセンジャー
- 携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

モバイル端末機器を接続する

- ペアリングを行う(▶▶▶ 91)。
- モバイル端末機器の Bluetooth 機能を ON にします (モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。
- 携帯機器 を選択し、確定します。
- 新しい携帯機器のペアリング を選択し、確定します。携帯端末機器をサーチします。



ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。


認識可能な携帯端末機器が表示されます。

- モバイル端末機器を選択し、確定します。
- モバイル端末機器に関する指示を確認し、遵守してください。
- コードが一致していることを確認します。
- » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- » 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 193)
- » モバイル端末機器によっては、電話データが自動的に車両に伝送されます。
- » 電話データ (▶▶▶ 100)
- » 電話帳が表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 194)
- » Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブル

シューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 194)

ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する

- ペアリングを行う(▶▶▶ 91)。
 - ライダー または パッセンジャー を選択し、確定します。
 - ヘルメットのコミュニケーションシステムを認識可能にします。
 - 新しいペアリング (ライダー) または新しいペアリング (タンデム) を選択し、確定します。
- ヘルメットをサーチします。

 ペアリング中、Bluetooth アイコンが下側のステータス欄で点滅します。

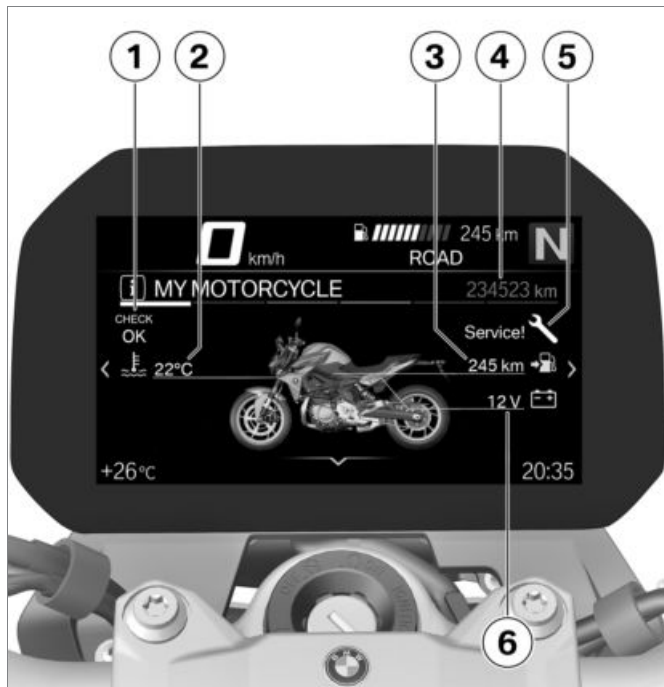
認識可能なヘルメットが表示されます。

- ヘルメットを選択し、確定します。

- » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- » 接続が確立されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 193)
- » Bluetooth 接続が想定された通りに機能しない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 194)

接続を削除する

- メニュー設定、接続 を呼び出します。
- 接続の削除 を選択します。
- 接続を個別に削除するには、接続を選択してから確定します。
- すべての接続を削除するには、すべての接続の削除 を選択し、確定します。



My Motorcycle

スタート画面

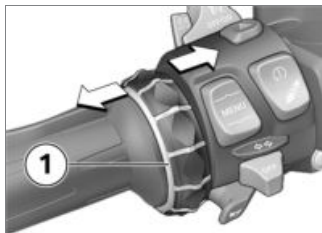
- 1 チェックコントロール表示
表示 (▶▶▶ 31)
- 2 クーラント温度 (▶▶▶ 43)
- 3 走行可能距離 (▶▶▶ 88)
- 4 総走行距離
- 5 サービス表示 (▶▶▶ 49)
- 6 車両電装システム電
圧 (▶▶▶ 163)

操作情報



- 操作情報 1: 左または右にどの程度めくることができるかを示すタブ。
- 操作情報 2: 現在のメニュー画面の位置を示すタブ。

メニュー画面でページをめくる



- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- 右にめくるには、マルチコントローラー 1 を右に短押しします。
- 左にめくるには、マルチコントローラー 1 を左に短押しします。

My Motorcycle メニューには以下の画面が含まれています：

- MY MOTORCYCLE
- チェックコントロール (現存する場合)
- オンボードコンピュータ

- トリップコンピュータ
- サービス実施時期
- タイヤ空気圧およびチェックコントロールメッセージに関する詳細情報は、「表示」の章に記載されています。



注意事項

チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メニューMy Motorcycle のメニュー画面に追加タブとして付加されます。◀

オンボードコンピュータおよびトラベルボードコンピュータ

メニュー画面オンボードコンピュータ およびトリップコンピュータは、平均値などの車両データおよび走行データを表示します。

サービス実施時期



次回サービスまでの期間が1か月以内になるか、次回サービスまでの距離が1000 km以内になると、チェックコントロールメッセージが白色で表示されます。



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。◀

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と接続されていること。

接続されている携帯端末機器にBMW Motorrad Connected App がインストールされていること。



注意事項

iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。◀

目的地アドレスを入力する

- モバイル端末機器を接続する(▶▶▶ 91)。
- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出し、目的地ガイドをスタートさせます。
- TFT ディスプレイでメニューナビゲーション を呼び出します。
 - » ON になっている目的地ガイドが表示されます。
 - » アクティブ目的地ガイドが表示されない場合、「テクニカルデータ」の章のトラブルシューティングが解決に役立つ可能性があります。(▶▶▶ 195)

目的地を直近の目的地から選択する

- メニューナビゲーション、前回の目的地 を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始 を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニューお気に入り は、BMW Motorrad Connected アプリでお気に入り登録されているすべての目的地を表示します。TFT ディスプレイでは新しいお気に入りを登録することはできません。
- メニューナビゲーション、お気に入り を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始 を選択します。

追加目的地を入力する

- 観光地などの追加目的地を地図に表示させることができます。
- メニューナビゲーション、POI を呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

- 現在地で
- 目的地で
- ルートに沿って
- どの場所で追加目的地を検索するか、選択してください。

例えば、以下の追加目的地を選択することができます：

- ガソリンスタンド
- 追加目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始 を選択し、確定します。

ルート基準を決定する

- メニューナビゲーション、ルート基準 を呼び出します。

以下の基準を選択することができます：

- ルートタイプ
- 回避
- 希望のルートタイプ を選択します。
- ご希望の回避 を ON または OFF にします。

有効にした回避の数がカッコ内に表示されます。

ルート案内を終了する

- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- ルート案内を終了 を選択し、確定します。

音声指示を ON または OFF にする

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する(▶▶ 92)。
- ナビゲーションはコンピューター音声による読み上げが可能です。そのためには音声案内 が ON になっている必要があります。
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- 音声案内 を ON または OFF にします。

直前の音声指示を繰り返す

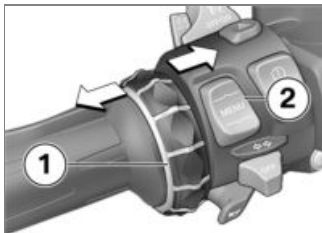
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- 現在の音声案内 を選択し、確定します。

メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

音楽再生を制御する



- メニューメディア を呼び出します。



注意事項

BMW Motorrad は、走行前にモバイル端末機器のメディアおよび通話の音量を最大に設定することを推奨します。◀

- 音量を調整する(▶▶▶ 89)。
- 次のトラック：マルチコントローラー **1** を右に素早く傾けます。
- 前のトラックまたは現在のトラックの出だし：マルチコントローラー **1** を左に素早く傾けます。
- 早送り：マルチコントローラー **1** を右にしばらく傾けたままにします。
- 早戻し：マルチコントローラー **1** を左にしばらく傾けたままにします。
- コンテキストメニューを呼び出す：ボタン **2** を下方向へ押します。



注意事項

携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。◀

- » コンテキストメニューでは以下の機能を利用できます：

- 再生スタート または再生一時停止。
- 検索および再生には、カテゴリー-現在の再生、すべてのアーティスト、すべてのアルバム またはすべてのタイトル を選択します。
- プレイリスト を選択します。

サブメニューオーディオオプションでは以下の設定を行うことができます：

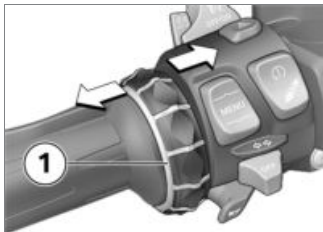
- ランダム再生 を ON または OFF にします。
- リピート：OFF、ON (現在のタイトル) またはすべて を選択します。

電話

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

電話をする



- メニュー電話 を呼び出します。
- 電話を受ける：マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
- 電話を拒否する：マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- 通話を終了する：マルチコントローラー **1** を左に傾けます。

ミュートスイッチ

通話が有効な際に、ヘルメットのマイクロフォンをミュートに切り替えることができます。

複数の相手との通話

通話中に、別の相手からの着信を受けることができます。最初の通話は保留になります。継続中の通話の数がメニュー電話に表示されます。2つの通話間で切り替えを行うことができます。

電話データ

モバイル端末機器によっては、ペアリング (▶▶ 91) 後に電話データが車両に自動的に伝送されます。

電話帳：モバイル端末機器に保存されているコンタクトリスト

通話履歴：モバイル端末機器での通話リスト

お気に入り：モバイル端末機器に保存されているお気に入りリスト

ソフトウェアバージョンを表示する

- メニュー設定、情報、ソフトウェアバージョン を呼び出します。

ライセンス情報を表示する

- メニュー設定、情報、ライセンス を呼び出します。

調整

ミラー	102
ヘッドライト	102
クラッチ	103
ブレーキ	103
スプリングプリロード	104
ショックアブソーバー	105

ミラー ミラーを調整する




- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットをトルクで締め付けます。

 ミラー(ロックナット)
とクランプ

22 Nm (左ネジ)

- 保護キャップを接続部の上へずらします。

ヘッドライト

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

積載荷重による負荷が非常に高い場合、スプリングプリロードの調整が不十分になっていることがあります。その場合は、光軸を重量に合わせて調整する必要があります。

注意事項

光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。◀

光軸を調整する



積載負荷が高く、スプリングブリロードの調整が適切でない場合には、対向車を眩感しないようにするため、以下の手順を実行します：

- 左右ヘッドライトの光軸の高さの調整をアジャストスクリュー **1** (左右) で行います。
- モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：
 - ヘッドライトを基本設定に戻します。
 - ナット **1** を外します。

- ヘッドライト **2** を軽く傾けて調整します。
- ナット **1** を締め付けます。

クラッチ

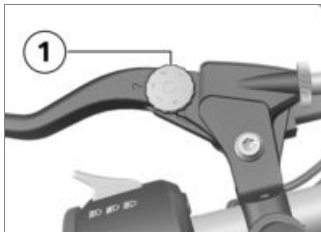
クラッチレバーを調整する



警告

走行中のクラッチレバーの調整事故の危険

- クラッチレバーの調整はモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を大きくするに

- は、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。
- クラッチレバーとハンドルグリップ間の間隔を小さくするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。



注意事項

クラッチレバーを前に向かって押すと、アジャストスクリューをより簡単に回せるようになります。◀

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する



警告

ブレーキフルードタンクの位置の変更

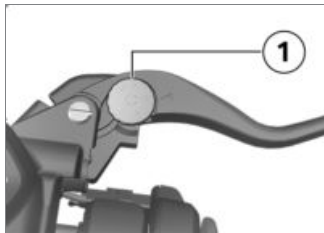
ブレーキシステム内のエア

- ハンドルバーフィッティングまたはハンドルバーを回さない。◀

⚠ 警告

走行中のブレーキレバーの調整 事故の危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- 調整ボルト **1** を反時計回りに回し、ハンドブレーキレバーとハンドルグリップの間隔を広げます。
- 調整ボルト **1** を時計回りに回し、ハンドブレーキレバーとハンドルグリップの間隔を狭めます。

🔧 注意事項

ブレーキレバーを前へ押しと、アジャストスクリューを簡単に回すことができます。◀

スプリングプリロード 調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

リヤホイールのスプリングプリロードを調整する

- シートを取り外す(▶▶ 77)。
- ツールキットを取り外します。




⚠ 警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀
- スプリングプリロードを高くするには、ツールキットを使用してアジャストノブ **1** を時計回りに回します。
- スプリングプリロードを低くするには、ツールキットを使用し

てアジャストノブ **1** を反時計回りに回します。

 リヤスプリングプリロード基本調整

- Dynamic ESA^{OE} 非装備

アジャストノブを反時計回り(左回り)にストップ位置まで回します。(1名乗車時、荷物積載なし)

アジャストノブをストップ位置まで反時計回りに回してから、時計回りに20回転回します。(1名乗車時、荷物積載あり)

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回します。(2名乗車+荷物積載時)◀

- ツールキットを再び組み込みます。
- シートを取り付ける(▶▶ 78)。

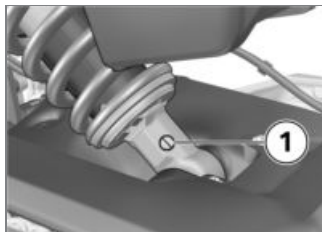
ショックアブソーバー調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

リヤホイールのショックアブソーバーを調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。




- ショックアブソーバーをアジャストスクリュー **1** で調整します。



- ダンピングをハードにするには、アジャストスクリュー **1** を時計回りに回します。

- ダンピングをソフトにするには、アジャストスクリュー **1** を反時計回りに回します。

 リヤショックアブソーバーの基本調整

– Dynamic ESA^{OE} 非装備

アジャストスクリューをストップ位置まで時計回りに回してから、1.5 回転戻します。(1 名乗車時、荷物積載なし)

調整ボルトをストップ位置まで時計回りに回してから、0.5 回転戻します。(1 名乗車時、荷物積載あり)

アジャストスクリューをストップ位置まで時計回りに回してから、0.25 回転戻します。(後席乗車時、荷物積載あり)◁

走行

安全に関する注意事項.....	108
定期点検.....	110
始動.....	111
慣らし走行.....	114
ギヤチェンジ.....	115
シフトポイント用フラッシュ.....	116
ブレーキ.....	117
駐車.....	118
給油.....	119
モーターサイクルを搬送用に固定 します.....	124

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

走行時には、以下のものを装着 / 着用してください：

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や季節にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着 / 着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。

最大許容バンク角の減少

- ローダウン^{OE} 装備

ローダウンサスペンションを装着しているモーターサイクルの場合、標準サスペンションを装備しているモーターサイクルより、

可能バンク角度が小さくなり、最低地上高が低くなります。



警告

ローダウン仕様のモーターサイクルでコーナリングを行う場合に、車両部分を通常より早めに起こすことができます。

転倒の危険

- 車両の最大許容バンク角を注意深く確認し、走行スタイルをそれに合わせて調整してください。◀

危険のない状況で、ご使用のモーターサイクルの許容バンク角を点検してください。縁石の角や障害物などを乗り越えるときには、車両の最低地上高が低く制限されていることを考慮に入れてください。

ローダウンサスペンションのモーターサイクルでは、スプリングトラベルが短くなります。それまでの走行快適性も制限される可能性があります。タンデム走

行においては専用にスプリングプリロードを調整する必要があります。

荷物の積み方




警告

積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる

転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。◀
- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの設定を車両重量に合わせて調整します。
- ケース^{OA} 装備
- ケースの容量が左右均等になっているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか確認します。
- 重いものはケースの下部の内側に入れます。


- 最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します(「アクセサリ」の章も参照)。

 ケースごとの積載荷重

max 5 kg<

ー トップケース^{OA} 装備

- 最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します(「アクセサリ」の章も参照)。

 トップケースの積載荷重

max 5 kg<

車速

高速走行時には、以下のようなさまざまな周辺条件が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

- ー スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの間違った調整
- ー 荷物積載のアンバランス
- ー 不適切な服装
- ー タイヤ空気圧が低すぎる
- ー タイヤトレッドの摩耗
- ー ケース、トップケース、タンクバッグなどのラゲッジシステムが取り付けられている。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



警告

健康を害するおそれのある排ガス窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険



注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。

以下の規定を遵守してください：

- ー フューエルタンクを空にしない
- ー スパークプラグのキャップを外したままエンジンを作動させない
- ー ミスファイアーが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる
- ー 無鉛ガソリンのみを使用する

- 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。

重要事項

**触媒コンバーター内の未燃焼燃料
触媒コンバーターの損傷**

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート

重要事項

長時間のアイドルング

冷却不足によるオーバーヒート、
極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドルングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造

重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)
関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。◀

定期点検

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的な点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに：

- ブレーキシステムの機能を点検します。
- 照明および信号装置の機能を点検します。

- クラッチの機能を点検する(▶▶▶ 148)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検する(▶▶▶ 151)。
- タイヤ空気圧を点検する(▶▶▶ 150)。
- ケースおよび荷物が確実に固定されているか確認します。

積載状態に変化があった場合：

- Dynamic ESA^{OE} 非装備
- リヤホイールのスプリングプリロードを調整する(▶▶▶ 104)。
- リヤホイールのショックアブソーバーを調整する(▶▶▶ 105)。◀
- Dynamic ESA^{OE} 装備
- サスペンションを調整する(▶▶▶ 63)。◀

燃料補給 3 回目ごと：

- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶▶ 142)。

- フロントブレーキパッド厚を点検する(▶▶▶ 144)。
- リヤブレーキパッド厚を点検する(▶▶▶ 145)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 146)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検する(▶▶▶ 147)。
- クーラントレベルを点検する(▶▶▶ 149)。
- チェーンの潤滑を行う(▶▶▶ 168)。
- チェーンのたるみ量を点検する(▶▶▶ 168)。

始動

エンジンを始動する

重要事項

エンジン作動状態でのみ、ギヤボックスの潤滑が十分に行われている。

ギヤボックスの損傷

- エンジンを停止した状態でモーターサイクルを長時間前進させ

たり、長い距離を惰行させないでください。◀

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 52)。
 - ▶ Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 112)
 - ▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 112)
 - ▶ ASC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 113)
- 走行モードPro^{OE} 装備
 - ▶ DTC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 113)◀
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

注意事項

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出し

た状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀



- スターターボタン **1** を操作します。

注意事項

バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。詳細については、「メンテナンス」の章の「ジャンプスタート」を参照してください。◀



エンジンの始動します。

- » エンジンが始動しない場合は、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングをご覧ください。(▶ 192)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にした後、メーターパネルがインジケータ / 警告灯のテスト、いわゆるPre-Ride-Check (走行前点検) を実施します。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

すべてのインジケータ / 警告灯が ON になります。車両が比較的長い間停止状態にあった後にシステムをスタートされると、アニメーションが表示されます。

段階 2

ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。

ステップ 3

作動しているすべてのインジケータ / 警告灯が逆の順序で消灯します。

排気ガス警告灯は 15 秒後に消灯します。

インジケータ / 警告灯が ON にならなかった場合：

- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad ABS の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。

段階 2

- » 発進時のホイール回転数センサーの点検。



ABS インジケータ / 警告灯が点滅します。

ABS 自己診断が終了

- » ABS 表示灯 / 警告灯が消灯します。



ABS 自己診断が完了していません

ABS は、自己診断が完了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります：5 km/h)

ABS 自己診断の完了後に、ABS の不具合が表示される場合：


- 走行を続行することは可能です。ABS 機能が使用できないことに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

ASC 自己診断

BMW Motorrad ASC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。


ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。

 ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

段階 2


- » 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します。

 ASC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

ASC 自己診断が終了

- » ASC 表示灯 / 警告灯が消灯します。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。

 ASC の自己診断が完了していません

自己診断が完了しなかったため、ASC は使用できません。（ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります： min 5 km/h）

ASC 自己診断の終了後、ASC の故障が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。ASC 機能が使用できないことに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。


DTC 自己診断

– 走行モード Pro^{OE} 装備

BMW Motorrad DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。


ステップ 1

- » 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。

 DTC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

段階 2

» 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。

 DTC インジケーター / 警告灯がゆっくりと点滅します。

DTC 自己診断が終了しました

» DTC アイコンが表示されなくなります。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。

 DTC 自己診断が完了していません

自己診断が完了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません： min 5 km/h)

DTC 自己診断の完了後に、DTC の不具合が表示される場合：

- 走行を続行することは可能です。DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

慣らし走行**エンジン**

- 初回点検までは、スロットル開度とエンジン回転数を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- できる限り高速道路は避け、カーブが多く、なだらかな坂のある道を選んでください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。



慣らし走行中のエンジン
回転数

<6500 min⁻¹ (走行距離
0...1200 km)

フルロードなし (走行距離
0...1200 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。



最初の慣らし運転までの
走行距離

500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる

事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

ギヤチェンジ

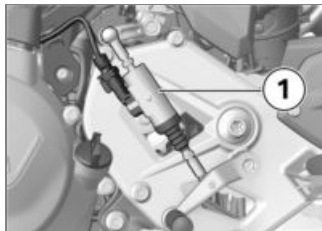
– シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro



注意事項

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀



- ギヤのかみ合わせは、従来と同様に、シフトペダルにかける踏力で行われます。
- » ギヤシフトアシストはシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするものです。シフトアップ/シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要がありません。
- オートマチックは関係がありません。
- ライダーがシステムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決定します。

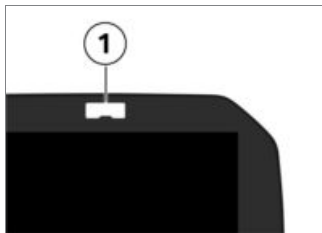
- シフトシャフトのセンサー **1** がシフトの希望を検知し、シフトサポートを介入させます。
- » 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。
- BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。
- 限度回転域におけるギヤシフトアシストProの使用は避けてください。
- » 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：
 - クラッチが操作されている場合。
 - シフトレバーが初期位置にない場合
 - スロットルバタフライを閉じた状態(惰性走行) または減速時のシフトアップ。
 - スロットルバタフライが開いている状態またはスロットルを操

作して開けた場合のシフトダウン時。

- ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除します。
- » ギヤシフトアシストPro に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。
- » ギヤシフトアシストPro (▶▶▶ 136)

シフトポイント用フラッシュ

シフトポイント用フラッシュ



シフトポイント用フラッシュ **1** は、高速へのシフトチェンジのタイミングに近づいていることを知らせます。

- 設定されている周波数でシフトポイント用フラッシュが点滅：シフト回転数に間もなく到達します
- シフトポイント用フラッシュが消灯：シフト回転数に達しています

回転数しきい値およびシフトポイント用フラッシュの点灯方法については、メニュー設定、車両設定で調整することができます（「操作」の章も参照）。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント/リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きな制動力が伝達されます。制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかける必要があります。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニング

される「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、制動力が完全には路面に伝達できなくなります。フロントホイールがロックするおそれがあります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad ABSによって回避されます。

下り坂



山道や狭い通路などを抜けるときにリヤブレーキのみをかける
オーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の喪失

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。

**警告**

濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる

事故の危険

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

ABS Pro

– 走行モードPro^{OE} 装備

走行における物理的境界

**警告**

コーナーにおけるブレーキング

ABS Pro 装備でもある転倒の危険性

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。

- 安全のためのサポートを、リスクキーな走行により制限しないでください。◀

ABS Pro はDynamic PRO 以外のすべての走行モードで使用することができます。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に 100%のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状

況が原因のブレーキング時に、走行における物理的境界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。

**注意事項**

ABS Pro はバンク時の個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。◀

駐車

サイドスタンド

- エンジンを停止させます。

**重要事項**

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。◀
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。
- 勾配のある路面では、モーターサイクルを「上り」方向に向けて立て、1速に入れます。

メイン(センター) スタンド

—センタースタンド^{OE} 装備

- エンジンを停止させます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀

重要事項

激しい動きとともにメイン(センター) スタンドを格納する

転倒によるコンポーネントの損傷

- メイン(センター) スタンドを出したままの状態でもーターサイクルに着座しないでください。◀
- メイン(センター) スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

給油

燃料品質

前提条件

最適な燃費となるよう、サルファー(硫黄)フリーの燃料、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。

重要事項

有鉛ガソリンを給油する

触媒コンバーターの損傷

- 有鉛ガソリンや金属添加物(マンガン/鉄など)を含む燃料は決して給油しないでください。◀
- 燃料に含まれるエタノールの最大比率に注意してください。

注意事項

推奨されている燃料品質F 900 R A2 (0K31)

A2バージョンは異なる燃料品質のものと一緒に給油することができます。詳細情報については「仕様(諸元)」の章をご確認ください。◀



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン(ハイオク)(最大 15 %エタノール、E15)
95 ROZ/RON
90 AKI

給油手順



警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる

転倒の危険

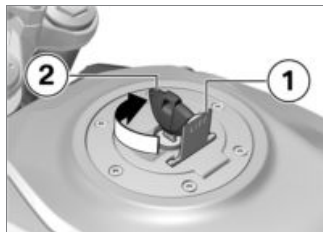
- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀



重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀



- 保護キャップ **1** を開きます。
- フューエルタンクのロック **2** を、車両キーを使用して時計回りに回してロック解除し、開きます。



- 燃料の補給はフィラーネックの下端までにしてください。



注意事項

燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が OFF になります。◀

注意事項

テクニカルデータ(仕様諸元)に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジン

が停止したときに給油できる燃料の量です。◀

 フューエルタンク容量
約 13 l
 フューエルリザーブ容量
約 3.5 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

– Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

ステアリングロックはロック解除された状態です。

警告

フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。◀

警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる
転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、またはつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。
- センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀
- Keyless Ride^{OE} 装備
- イグニッションを OFF にする(▶▶ 55)。

注意事項

イグニッションを OFF にした後、無線キーが受信範囲内にない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。◀



タンクキャップを開くためのアフターランニング時間

2 min

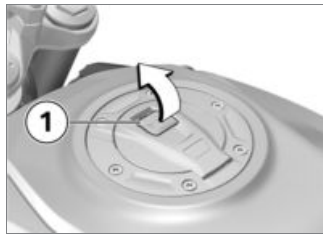
- » タンクキャップは、以下の**2つの方法**で開くことができます：
 - アフターランニング時間内。
 - アフターランニング時間の経過後。

バリエーション 1

- Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間内



- タンクキャップのタブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。

- タンクキャップを完全に開きます。

バリエーション 2

- Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

アフターランニング時間の経過後

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- タンクキャップのタブ **1** を再びゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。



注意事項

燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が OFF になります。◀



注意事項

テクニカルデータ (仕様諸元) に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空

に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀



フューエルタンク容量

約 13 l



フューエルリザーブ容量

約 3.5 l

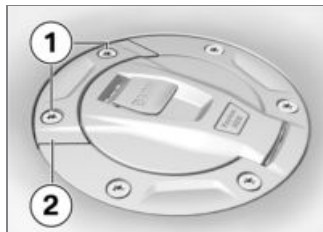
- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押します。
 - » タンクキャップが音とたててはまります。
 - » アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。
 - » しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッション ON に伴い、ただちにロックがかかります。

タンクキャップ緊急ロック解除機構を開く

– Keyless Ride^{OE} 装備

タンクキャップが開きません。

- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。



- ボルト **1** を取り外します。
- 緊急ロック解除機構 **2** を取り外します。
 - » タンクキャップはロック解除されています。

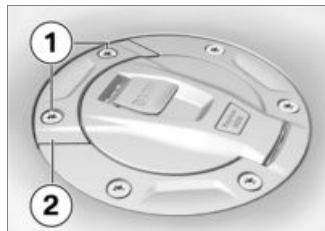
- タンクキャップを完全に開きます。
- 給油(▶▶ 121)。
- タンクキャップ緊急ロック解除機構を閉じる(▶▶ 124)。

タンクキャップ緊急ロック解除機構を閉じる

– Keyless Ride^{OE} 装備

前提条件

タンクキャップは閉じている状態です。



- 緊急ロック解除機構 **2** を位置決めします。
- ボルト **1** を取り付けます。

モーターサイクルを搬送用に固定します

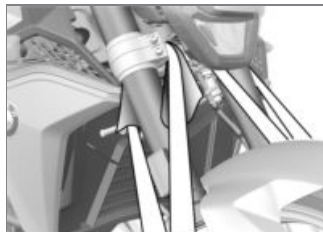
- テンションストラップ(固定用ベルト) が取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します(接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください)。



重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く
転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン(センター)スタンドで立てないでください。

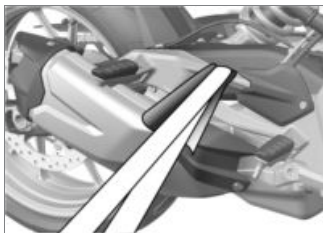


重要事項

コンポーネントの挟み込み
コンポーネントの損傷

- コンポーネント(ブレーキラインやケーブルなど) が挟み込まれないようにしてください。◀

- フロント側テンションストラップをローアークブリッジに取り付けてピンと張ります(左右)。



- リヤ側テンションストラップをフットレストプレートに取り付けて固定し、ピンと張ります(左右)。
- すべてのテンションストラップを均一にピンと張ります。

技術情報

一般的な情報	128
アンチロックブレーキシステム (ABS)	128
トラクションコントロール(ASC/ DTC)	130
エンジンプレーキトルクレギュ レーター	132
Dynamic ESA	133
走行モード	133
ダイナミックブレーキコントロー ル	135
ギヤシフトアシスト	136
アダプティブヘッドライト	137

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下を参照してください：

[bmw-motorrad.com/
technology](http://bmw-motorrad.com/technology)

アンチロックブレーキシステム(ABS)

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大制動力が限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われ

ます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、伝達される最大制動力にブレーキ圧を適応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こりえます。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS はブレーキ圧を下げる必要があります。このときBMW Motorrad ABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦

係数(ぬかるみ、凍結、雪の場合)をかなり低く見積もっています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

リヤホイールの浮き上がり

減速が著しく急激な場合、状況によってはBMW Motorrad ABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。



警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり 転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。◀

BMW Motorrad ABS はどのように設計されているのでしょうか？

BMW Motorrad ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。

車速が 4 km/h を超えると、BMW Motorrad ABS は物理的限界内でそれぞれの路面において走行安定性を確保することができます。より低速の場合には、BMW Motorrad ABS はシステム上の制約によりすべての路面では最適にサポートすることができません。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長い時間にわたって妥当でない値が検出されると、安全上の理由からABS機能がOFFになり、ABSの故障の表示が出ます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS における問題の他にも、特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります：

- 長時間の後輪走行（ウィーリー）。
- フロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）。
- センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する。

– エンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック（滑りやすい路面での発進時など）。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS機能は、イグニッションをOFF/ONにすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム

事故の危険

- BMW Motorrad ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず順守してください。◀

安全を確保するための予防措置

BMW Motorrad ABS により制動距離が短くなるからといって、不用意にブレーキ操作することは避けなければなりません。この装備は、基本的には緊急事態における安全性を確保するための予防措置です。

コーナリング時のブレーキには特に注意してください。コーナリング時にブレーキをかけると、モーターサイクルの重量と慣性が勝り、BMW Motorrad ABS といえどもその影響を補正することはできません。

ABS からABS Pro へ、さらなる発展

– ABS Pro^{OE} 装備

これまでBMW Motorrad ABS は、直進走行時のブレーキにおける安全性に関して極めて高い基準を設定し、実現してきました。そして今、ABS Pro がコー

ナーにおけるブレーキプロセスにおいても、より高い安全性を提供します。ABS Pro は、急なブレーキ操作時におけるホイールのロックを防ぎます。ABS Pro は、特に急ブレーキ時における急激な操舵力の変動を低減させ、思いがけない車両の立ち上がりを起こりにくくします。

ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。

バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS 制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Pro の利点は、コーナーにおいてもベストな減速を可能にする高精度の応答性、制動安定性および走行安定性です。

トラクションコントロール(ASC/DTC)

トラクションコントロールはどのように機能するのでしょうか？

トラクションコントロールには2つの特徴があります

- バンク角を考慮しない場合：オートマチックスタビリティコントロールASC
- ASC は、転倒を回避するための基本的な機能です。
- バンク角を考慮する場合：ダイナミックトラクションコントロールDTC
- DTC の制御はバンク角と加速に関する追加情報を通して、

より精細かつ快適になりません。

トラクションコントロールは、フロントホイールとリヤホイールのホイール回転速度を比較します。速度の差から、リヤホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

BMW Motorrad ASC/DTC は、ライダーおよび公道での走行のためのアシストシステムとして考案されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASC/DTC の制御性能に大きな影響を与えます(コーナーでの荷重移動、積載状態など)。

このシステムは、オフロードレースやレーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場

合は、BMW Motorrad ASC/DTC を OFF にできます。



警告

リスクな走行

ASC/DTC を装備していても事故の危険性はあります

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リヤホイールの回転(空転) やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較され、DTC ではASC に対してバンク角が考慮されます。

– 走行モード Pro^{OE} 装備
一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTC が OFF になります。この場合には、DTC の不具合が表示されません。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。
次のような、通常とは異なる運転 / 走行状態においては、BMW Motorrad トラクションコントロールが自動的に OFF になる場合があります。

特殊な運転 / 走行状態：

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際に、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。



DTC を ON するための
の最低速度

min 5 km/h

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC または DTC が走行モード RAIN および ROAD でトルクを抑えます。

DTC 設定 DYNAMIC では、フロントホイール浮き上がり検知は短時間のウィリー走行を許容します。

走行モード DYNAMIC PRO では、フロントホイール浮き上がり検知は OFF になっています。BMW Motorrad は、フロントホイールの浮き上がり時にスロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

走行モード RAIN、ROAD および DYNAMIC では、DTC 設定は走行モードに準じます。

走行モード DYNAMIC PRO では、DTC について異なる設定が可能です。

エンジブレキトルクレギュレーター

– エンジブレキトルクレギュレーター^{OE} 装備

エンジブレキトルクレギュレーターはどのように機能するのでしょうか？

エンジブレキトルクレギュレーターは、高いエンジブレキトルクによってリヤホイールで引き起こされる不安定な運転 / 走行状態を確実に回避するという役割があります。路面状態および走行特性によっては、高すぎるエンジブレキトルクがリヤホイールスリップの発生を著しく増大させ、走行安定性が損

なわれることがあります。エンジブレキトルクレギュレーターは、走行モードおよびバンク角に応じた目的のあるスリップを目指し、リヤホイールのスリップを制限します。

リヤホイールでの過大なスリップの原因：

- 摩擦係数の低い路面での惰性走行 (濡れた木の葉の上など)。
- シフトダウン時のリヤホイールホップ。
- スポーツ走行時の激しいブレーキング。

トラクションコントロール DTC と同様に、エンジブレキトルクレギュレーターはフロントおよびリヤのホイール回転数を比較します。バンク角に関する追加情報により、エンジブレキトルクレギュレーターはリヤホイールのスリップや安定性の余地について割り出します。

スリップが限界値を上回ったら、スロットルバタフライを少し開いてエンジントルクを増大させます。スリップが軽減され、モーターサイクルが安定します。

エンジンブレーキトルクレギュレーター的作用

- 走行モード RAIN および ROAD: 最大限の安定性。
- 走行モード DYNAMIC および DYNAMIC PRO: 高い安定性。

Dynamic ESA

- Dynamic ESA^{OE} 装備

Dynamic ESA の機能

Dynamic ESA は車高レベルセンサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応してショックアブソーバーバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

Dynamic ESA は定期的にキャリブレーションを行い、システムの正常な作動を確保します。

調整方法

ダンピングモード

- Road: 快適なオンロード走行用のダンピング
- Dynamic: ダイナミックなオンロード走行用のダンピング

荷重設定

- 1 名乗車時
- 1 名乗車 + 荷物積載時
- 2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に適合させ、ご希望の走行体験に合うようにするため、走行モードを以下のものから選択することができます：

- RAIN
- ROAD (標準モード)
- 走行モード Pro^{OE} 装備
- DYNAMIC

取付け済みのコーディングプラグを装備：
- DYNAMIC PRO

これらの走行モードそれぞれに、ABS、ASC/DTC、エンジンブレーキトルクレギュレーターならびにスロットルレスポンス用に調整されている設定があります。

- Dynamic ESA^{OE} 装備
Dynamic ESA は選択された走行モードとは関係なく調整可能です。

すべての走行モードで ASC/DTC を OFF にすることができます。以下の説明は、常に走行安全システムが ON の場合に関するものです。

スロットルレスポンス

- 走行モードRAIN: エンジンレスポンスはソフト。
- 走行モードROAD: エンジンレスポンスは最適。
- 走行モードDYNAMIC: エンジンレスポンスはダイレクト。
- 走行モードDYNAMIC PRO: エンジンレスポンスは個別に調整可能。

ABS

- リヤホイール浮き上がり検知は、すべての走行モード(DYNAMIC PROの工場設定を除く)で作動しています。
- 走行モードDYNAMICではブレーキ作用を高めるために、リアホイール浮き上がり検知が抑制されます。
- 走行モードDYNAMIC PROではABSについて異なる設定を行うことができます。

- 走行モードPro^{OE} 装備

ABS Pro

- 走行モードRAINおよびROADでは、ABS Proをフルに使用することができます。コーナーにおけるブレーキング時のモーターサイクルの傾きを最小限に抑えます。
- 走行モードDYNAMICでは、ABS Proを利用できるのは摩擦係数が良好な場合に限られます。サポートは走行モードRAINおよびROADよりも少なくなります。その代わりに最高のブレーキ作用が得られるように設計されています。
- 走行モードDYNAMIC PROではABS Proは工場設定でOFFになっています。

ASC

- フロントホイールの浮き上がり検知は、走行モードRAINおよびROADで作動しています。
- ASCはオンロード走行用に調整されています。

- ASCは、走行モードROADでは高い走行安定性を、走行モードRAINでは最大限の走行安定性を提供します。

- 走行モードPro^{OE} 装備

DTC

タイヤの取り付け

- 全走行モードにおいて、DTCはオンロードタイヤでのオンロード走行に調整されています。

走行安定性

- ASC/DTC設定RAINでは、最大限の走行安定性を達成するため、ASC/DTCの介入が早期に行われます。
- ASC/DTC設定ROADでは、ASC/DTCの介入が走行モードRAINよりも遅く行われます。リヤホイールの空転ができる限り回避されます。
- ASC/DTC設定RAINおよびROADでは、フロントホイールの浮き上がりが回避されません。

- ASC/DTC 設定DYNAMIC では、ASC/DTC の介入は走行モードROAD より遅く行われ、コーナー出口での軽いドリフトや短時間のウィリー走行が可能になります。

ASC/DTC 設定RAIN、ROAD およびDYNAMIC では、ASC/DTC 設定は走行モードに準じます。

ASC/DTC 設定DYNAMIC PRO では、ASC/DTC について異なる設定を行うことができます。

切替

走行モードは、イグニッションが ON で車両が停止しているときに変更することができます。

走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す。
- ブレーキレバーを操作しない。
- クルーズコントロールを作動解除します。

ご希望の走行モードをまず事前を選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。

走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

ダイナミックブレーキコントロール

- 走行モードPro^{OE} 装備

Dynamic Brake Control の機能

Dynamic Brake Control の機能はエマージェンシーブレーキング時にライダーをサポートします。

エマージェンシーブレーキングの検知

- フロントブレーキが素早く、強く操作された場合に、エマージェンシーブレーキングが検知されます。

エマージェンシーブレーキングの動作

- 10 km/h 以上の速度でエマージェンシーブレーキングが行われると、ABS 機能のために追加でDynamic Brake Control が作動します。

スロットルグリップの誤操作時の動作

- 緊急ブレーキ時にスロットルグリップが誤って操作された場合(グリップ位置 > 5%)、Dynamic Brake Control が「ス

ロットル開」を無視することにより、本来のブレーキ効果を確保します。エマージェンシーブレーキングの作用が確保されます。

- Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると(スロットルグリップ位置 < 5%)、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジントルクが再び確立されます。
- エマージェンシーブレーキングが終了してもスロットルグリップが未だに操作されている場合、Dynamic Brake Control により、エンジントルクを制御しながら調整し、ライダーの要求に戻します。

ギヤシフトアシスト

- シフトアシストPro^{OE} 装備

ギヤシフトアシストPro

この車両には、元々レンシュポルト(レーシングスポーツ)において開発されたギヤシフトアシストPro が装備されています。この装備はツーリング走行に合うように適合化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- 走行時における全シフト動作の70~80%をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- 減速およびシフトダウン(スロットルバタフライは閉じた状態)の際には、ダブルクラッ

チにより回転数の調整を行います。


- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

ご希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作されていない状態からアクュムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早くご希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。ギヤシフトアシストPro を使用してのシフト動作では、その都度、シフト動作前およびシフト動作中の負荷の状態(スロットルグリップ位

置)を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うシフト動作では、ギヤシフトアシストProによるサポートは行われません。

シフトダウン

シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。


 最高回転数
max 9000 min ⁻¹

シフトアップ

シフトアップは、ターゲットギヤにおけるアイドル回転数

に達するまでサポートされません。

それにより、アイドル回転数を下回らないようにします。

 アイドリング回転数
1250±50 min ⁻¹ (エンジン作動温度時)

アダプティブヘッドライト

アダプティブヘッドライトOE
装備

機能

ロービーム、ハイビームおよびデイライト、またはポジション/パーキングライトに加え、ヘッドライトにセパレートタイプのLEDエレメントが専用リフレクター付きで備わっています。LEDエレメントは、コーナー内側をより良く照射するために、バンク角に応じてロービームに加

えて使用されます。アダプティブヘッドライトは25°までのバンク角に対応するよう最適化されています。

アダプティブヘッドライトは下記の条件下で作動します:

- バンク角が7°を上回ること。
- 車速が10 km/hを上回ること。
- ロービームがONの状態であること。

メンテナンス

一般的な情報	140
ツールキット	140
サービスツールキット	140
フロントホイールスタンド	141
エンジンオイル	142
ブレーキシステム	144
クラッチ	148
クーラント	149
タイヤ	150
リムとタイヤ	151
ホイール	151
ライトバルブ	161
ジャンプスタート	161
バッテリー	163
ヒューズ	166

診断コネクタ	167
チェーン	168

一般的な情報

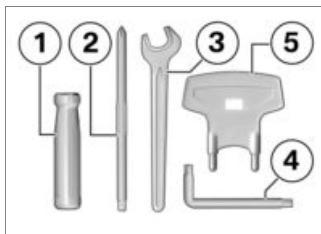
「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

さらに詳しいメンテナンスおよび修理作業に関する情報は、ご使用の車両に対応するDVD版リペアマニュアルをご覧ください。リペアマニュアルはBMW Motorrad ディーラーで入手できます。

記述されている作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

ツールキット

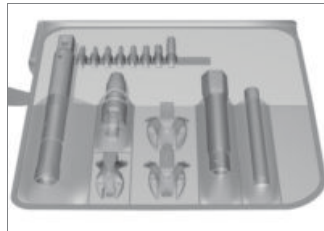


- 1 ドライバーグリップ
- 2 リバーシブルブレードドライバースタンプ
プラスおよびマイナスヘッドブレード付き
- フロント/リヤのウィンカー用バルブを交換する (▶▶▶ 161)。
- バッテリーを取り外す (▶▶▶ 164)。
- リヤホイールのショックアブソーバーを調整する (▶▶▶ 105)。
- 3 オープンエンドレンチ 口径 14

- 3 - ミラーアームを調整する (▶▶▶ 102)。
- 4 トルクスレンチ T25/T30
T25 はショートナックル、T30 はロングナックル
- 5 キー
- リヤホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 104)。

サービスツールキット

- サービスツールセット^{OA} 装備



さらに行われるサービス作業(ホイールの脱着など)のために、BMW Motorrad では、あなたのモーターサイクルに対応する適切

なサービスツールキットをご用意しています。このツールキットはBMW Motorrad ディーラーでお求めいただけます。

フロントホイールスタンド フロントホイールスタンドを取り付ける

重要事項

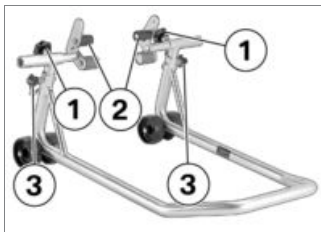
追加の補助スタンドを使用しないBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドで持ち上げる前に、補助スタンドで立ててください。◀
- モーターサイクルを適切な補助スタンドで立てます。
- センタースタンド^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイ

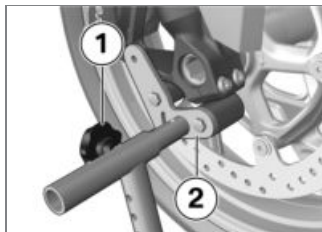
ン(センター) スタンドで立てます。◀

- 適切なフロントホイールスタンドを使用します。

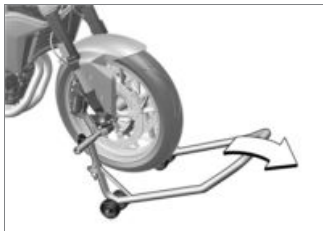


- 固定ボルト **1** を外します。
- 両方のサポート部 **2** を外側へ押し、フロントホイールガイドが間に収まるようにします。サポートピンをフロントサスペンションに合わせて調整します。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用して希望の高さに調整します。

- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせて、フロントアクスルに押し込みます。



- 両方のサポート部 **2** を、フロントホイールガイドが確実に取り付けられるように調整します。
- 固定ボルトをホイール **1** に締め付けます。



- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

ーセンタースタンド^{OE} 装備

重要事項

車両を持ち上げすぎた際のセンタースタンドの浮き

転倒によるコンポーネントの損傷

- リフトアップの際には、メイン(センター)スタンドが常に接地しているように注意してください。

- 必要に応じて、フロントホイールスタンドの高さを合わせます。◀
- モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。◀

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する

重要事項

オイル充填についての誤った解釈。オイルレベルは温度に対応して変化するため(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる)

エンジンの損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時(冷)のみ、行います。◀
- オイル注入口周辺を清掃します。

- ファンが作動を始めるまでエンジンをアイドル回転させ、さらに1分間作動させます。
- エンジンを停止させます。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをまっすぐに立てます。BMW Motorrad は適切な補助スタンドの使用をお勧めします。

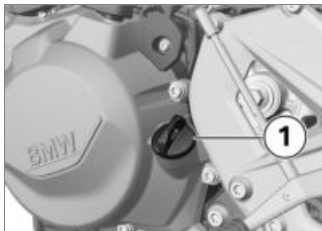
ーセンタースタンド^{OE} 装備

重要事項

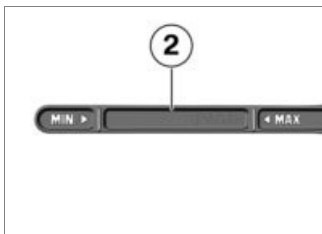
リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、作動温度に達しているモーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◀

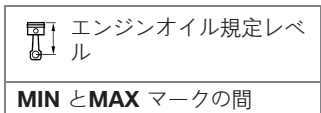
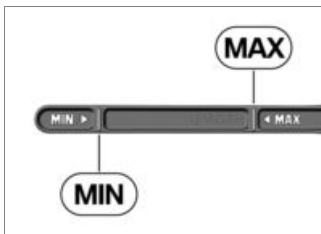


- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。
- オイルレベルゲージ **1** を取り外します。



- 測定範囲 **2** を乾いたウエスで拭きます

- オイルレベルゲージをオイル注入口に載せます。ただし、まだねじ込まないでください。
- オイルレベルゲージを抜き取り、オイルレベルを読み取ります。



エンジンオイル補充量

BMW Motorrad の推奨製品:
ADVANTEC Ultimate オイル、SAE 5W-40、API SL / JASO MA2

max 0.5 l (MIN とMAX 間の差)

オイルレベルが MIN マークを下回っている場合：

- エンジンオイルを補充する(▶▶▶ 143)。

オイルレベルが MAX マークを上回っている場合：

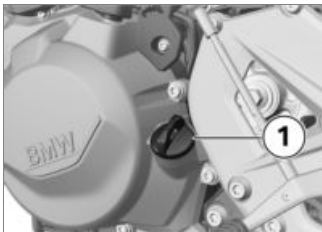
- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

- オイルレベルゲージを取り付けます。

エンジンオイルを補充する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

- 注入口周辺を清掃します。



- オイルレベルゲージ **1** を取り外します。

重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。
- エンジンオイルレベルを点検する(▶▶ 142)。

- オイルレベルゲージを取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりした抵抗が感じられない場合：

重要事項

ブレーキシステムにおける不適切な作業

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。


フロントブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントサスペンション間からブレーキパッド **1** へ。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

min 1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)
摩耗インジケーター、すなわち溝が、はっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えなくなっている場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る
制動作用の低下、ブレーキの損傷


- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀
- ブレーキパッドの交換をBMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の修理工場に依頼してください。

リアブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキキャリパー **1** の内側。

 リアブレーキパッドの摩耗限度

min 1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。)

ブレーキパッドが摩耗している場合：

警告

パッドの使用限度厚を下回る

制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀
- BMW Motorrad ディーラー（最善）または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する

警告

ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れている

ブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
- ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
- ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。◀

— センタースタンド OE 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。
- ハンドルを直進位置にします。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- ハンドルを直進位置にします。



- フロントブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベル **1** を読み取ります。

注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルがMIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラー (最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルをメイン(センター) スタンドで立てます。◀



警告

ブレーキフルードリザーバタンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れている


ブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
- ブレーキフルードリザーバタンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
- ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。◀
- リヤブレーキフルードリザーバタンクのブレーキフルードレベル1を読み取ります。

注意事項

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



 リヤブレーキフルードレベル(目視点検)

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが**MIN** マークを下回らないようにしてください。

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

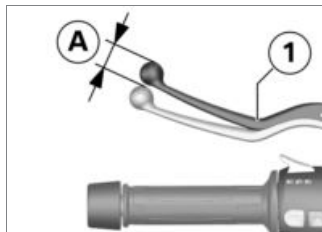
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ


クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
- » 操作するにつれて、力の上昇が感じられるはずですが、操作するにつれて、力の上昇が感じられない場合：
- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クラッチの遊びを点検する



- クラッチレバー **1** をグリップに密着するまで何回か操作します。
- 抵抗が感じられるまでクラッチレバー **1** を軽く操作し、その間にクラッチの遊び **A** を観察します。

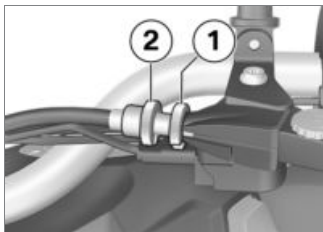
 クラッチの遊び

3...5 mm (レバーの外側、ハンドルバーは直進方向、エンジン冷間時)

クラッチの遊びが許容範囲を越えている場合：

- クラッチの遊びを調整する(▶▶ 149)。

クラッチの遊びを調整する



- ロックナット **1** を外します。
- クラッチの遊びを大きくするには：アジャストスクリュー **2** をハンドルバーフィッティングにねじ込みます。
- クラッチの遊びを小さくするには：アジャストスクリュー **2** をハンドルバーフィッティングから緩めます。

注意事項

ロックナットとナットの間隔(内側を測定)が、14 mm を上回ってはなりません。

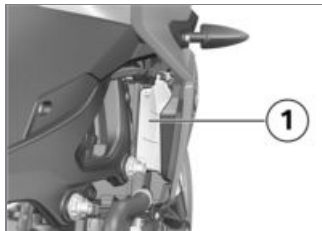
さらに回して緩めなければ、クラッチの遊びを正しく調整できない場合は、専門の整備工場または可能な限りBMW Motorradディーラーに問い合わせてください。◀

- クラッチの遊びを点検する(▶▶ 148)。
- アジャストスクリュー **2** を保持しながら、ロックナット **1** を締め付けます。

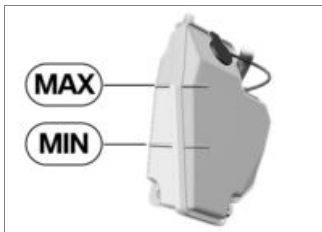
クーラント

クーラントレベルを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- リザーバータンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。目視点検方向：後方から右サイドトリムパネル開口部を通して。



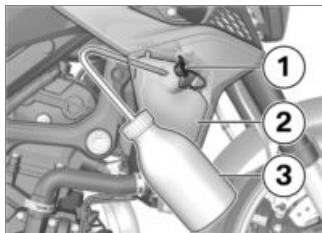
クーラント規定レベル

リザーバタンクのMIN マークとMAX マークの間 (エンジンが冷たい状態)

クーラントレベルが規定値を下回った場合：

- クーラントを補充します。

クーラントを補充する



- リザーバタンク **2** のキャップ **1** を開きます。
- ビーカーなどの適切な容器 **3** を使用して、クーラントを規定レベルまで補充します。
- クーラントレベルを点検する (▶▶ 149)。
- リザーバタンク **2** のキャップ **1** を閉じます。

タイヤ

タイヤ空気圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少


- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀



警告


垂直に取り付けられているバルブコアが高速走行時に勝手に開く
タイヤ空気圧の突然の喪失

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ空気圧 (フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)



タイヤ空気圧 (リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

リムとタイヤ

ホイールリムを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。



注意事項

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤが

完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイール

承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品がBMW Motorrad により試験が行われ、走行安全性に優れていると位置付けられています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorrad ではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad は、BMW Motorrad によって試験が行われたタイヤのみの使用を推奨します。

詳細についてはBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいた

だくか、下記ウェブサイトをご覧ください:

bmw-motorrad.com

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

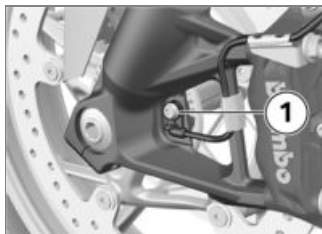
ホイールサイズは、フレーム制御システム ABS および ASC において、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数の検出に必要なセンサーホイールも、装備されている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前にBMW Motorradディーラーにご相談ください。

コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

フロントホイールを取り外す

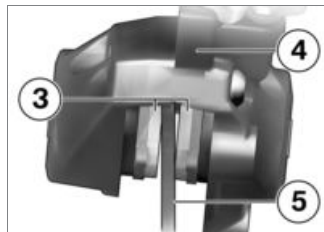
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ボルト **1** を取り外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。



- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **2** および **3** から外します。
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。



- ブレーキキャリパー **4** を回転させて、ブレーキパッド **3** を

ブレーキディスク **5** から少し離れるように押します。

- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に傷が付かないようにします。

重要事項

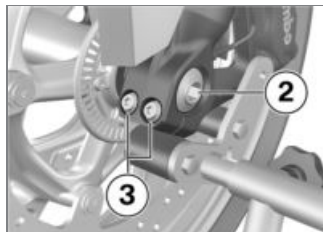
ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

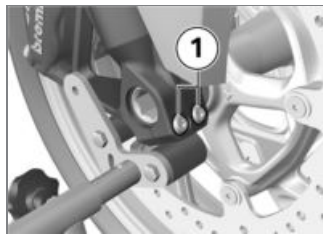
- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。◀
- ブレーキキャリパーを慎重に後方外側へブレーキディスクから引き出します。
- モーターサイクルを適切な補助スタンドで立てます。

– センタースタンド OE 装備

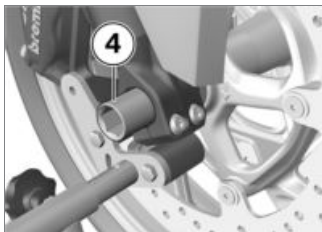
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◀
- フロントホイールが自由に回転できるようになるまで、モーターサイクル前部を持ち上げます。モーターサイクルを持ち上げるため、適切なフロントホイールスタンドを使用します。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 141)。



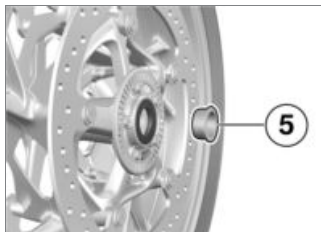
- アクスルボルト **2** を取り外します。
- 左アクスルクランプボルト **3** を外します。



- 右アクスルクランプボルト **1** を外します。



- ホイールを保持しながら、アクスル **4** を取り外します。
- シャフトに付着しているグリースは除去しないでください。
- フロントホイールを前へ転がして取り外します。



- 左側のスペーサーブッシュ **5** をホイールハブから外します。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC の制御介入における機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影

響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

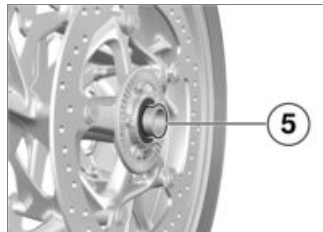


重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



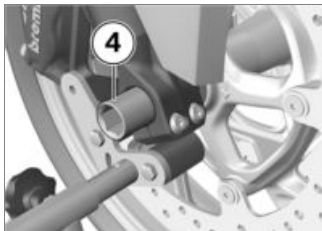
- スペーサーブッシュ **5** のカラーを外側にしてホイールハブの左側に差し込みます。

重要事項

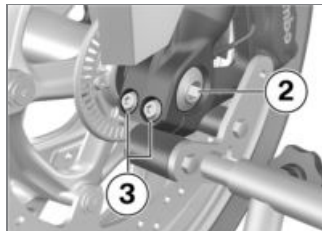
フロントホイールの取り付けが 回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。◀
- ブレーキディスクが左側ブレーキキャリパーのブレーキパッド間に収まるようにしながら、フロントホイールをフロントサスペンションに転がし入れませ



- フロントホイールを持ち上げて、アクスル **4** をストップ位置まで組み込みます。
- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付ける(▶▶ 141)。




- アクスルボルト **2** を適切な締め付けトルクで取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。

フロントアクスルシャフト内のアクスルボルト

50 Nm

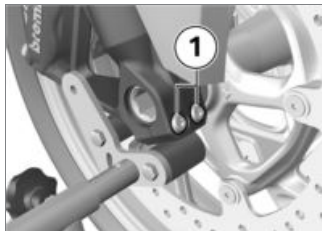
- 左アクスルランプボルト **3** を適切な締め付けトルクで締め付けます。



 アクスルシャフトのクラ
ンプ


締付け順序: ボルトを 6 回、
交互に締め付ける

19 Nm



- 右アクスルクランプボルト **1** を適切な締め付けトルクで締め付けます。



 アクスルシャフトのクラ
ンプ


締付け順序: ボルトを 6 回、
交互に締め付ける

19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 右側ブレーキキャリパーをブレーキディスクにのせます。



- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を締め付けトルクで締め付けます。

 ブレーキキャリパーとテレスコピックフォーク

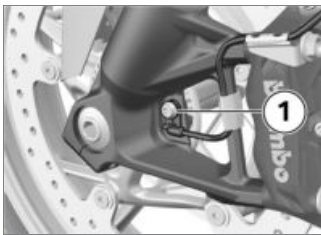
38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどはがしませんが。

 **警告**

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない
ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。◀
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何回か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **2** および **3** にはめ込みます。



- ホイール回転数センサーをボアに差し込み、ボルト **1** を締め付けトルクで締め付けます。

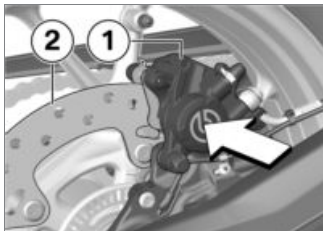
 フロントホイール回転数センサーとフォーク

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

8 Nm

リヤホイールを取り外す

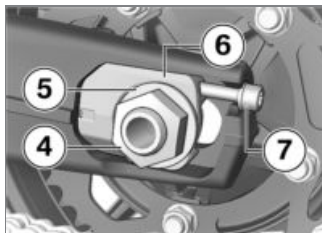
- モーターサイクルを適切なメイン(センター)スタンドで立てます。その際、路面が平坦で固くしっかりとしているか確認してください。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン(センター)スタンドで立てます。◀



- ブレーキキャリパー **1** をブレーキディスク **2** に押しつけます。
- » ブレーキピストンが押し戻されます。

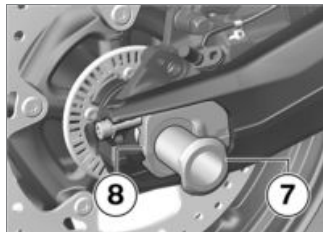


- ボルト **3** を取り外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。



- アクسلナット **4** およびワッシャー **5** を取り外します。

- 両側のアジャストスクリュー **7** を外します。
- チェーンテンショナー **6** を取り外し、アクスルをできる限り前方へずらします。



- アクسلシャフト **7** を取り外し、チェーンテンショナー **8** を取り外します。

リヤホイールを取り付ける

警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびASC の制御介入における機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

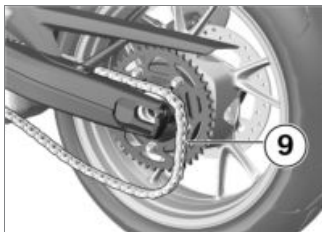
重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀
- ブレーキディスクがブレーキパッドの間に収まるようにしな

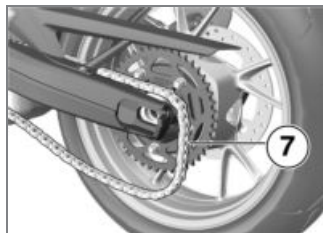
がら、リヤホイールをスイングアームに転がし入れます。



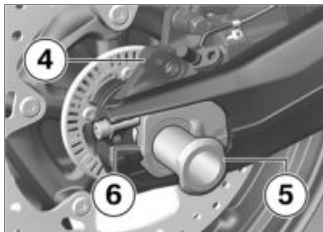
- リヤホイールをできるかぎり前方向へ転がし、チェーン 9 をスプロケットから外します。
- リヤホイールをスイングアームの後方へ転がします。

注意事項

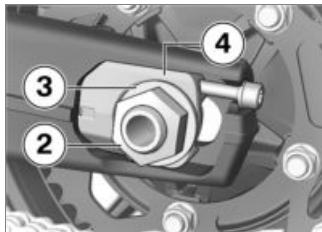
スプロケットと左右のスペーサーブッシュは、ホイールに緩めに組み込まれています。取り外しの際に、部品を損傷したり紛失したりしないよう注意してください。◀



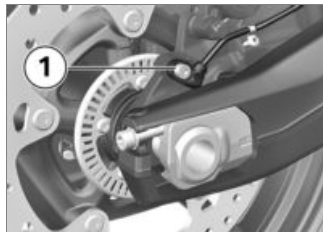
- リヤホイールをできるかぎり前方向へ転がし、チェーン 7 をスプロケットにのせます。



- 右側チェーンテンショナー **6** をスイングアームに取り付け、アクスルシャフト **5** をブレーキキャリアパーサポート **4** およびリヤホイールに取り付けます。
- その際、シャフトがチェーンテンショナーの開口部に適合することを確認してください。



- 左側チェーンテンショナー **4** を取り付けます。
 - ワッシャー **3** およびアクスルナット **2** を組み込みます。ただし、まだ締め付けません。
- センタースタンド^{OE} 非装備
- 補助スタンドを取り外します。◀



- ホイール回転数センサーをボアに差し込み、ボルト **1** を締め付けトルクで締め付けます。



リヤホイール回転数センサーとブレーキキャリアパーサポート

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

8 Nm



警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない

ブレーキ作用の遅延によって事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。◀
- 作業終了後、ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- チェーンのたるみ量を点検する(▶▶ 168)。
- チェーンのたるみ量を調整する(▶▶ 169)。

ライトバルブ

ロービーム / ハイビーム用 LED を交換する

- LED ロービームおよび LED ハイビームはアセンブリーでのみ交換可能です。この件につきましては、BMW Motorrad

ディーラーにお問い合わせください。

ポジションライト / パーキングライト用 LED を交換する

- LED パーキングライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ブレーキライト / テールライト用 LED を交換する

- LED テールライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する

- LED ウインカーはアセンブリーでのみ交換可能です。この件につきましては、BMW Motorrad

ディーラーにお問い合わせください。

ジャンプスタート



重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流、車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。◀



重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触

ショートのおそれ

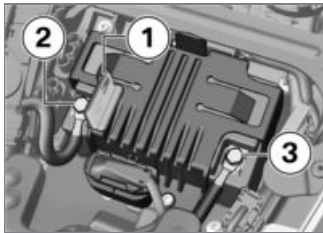
- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。◀

重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う

車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 V であることを確認してください。◀
- シートを取り外す(▶▶ 77)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから切り離さないでください。



- ロックを押し込み、プラスターミナルカバー **1** を開きます。

- ジャンパーコード(赤)の一方の先端を、まず放電したバッテリーのプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラスターミナルに接続します(当該車両のプラスターミナル：ポジション **2**)。
- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナルに接続します(当該車両のマイナスターミナル：ポジション **3**)。

注意事項

バッテリーマイナスターミナルの代わりに、サスペンションストラットのボルトを使用することもできます。◀

- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両の

エンジンを作動させておきます。

- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- ジャンパーコードの接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。

注意事項

エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類似的補助剤は使用しないでください。◀

- シートを取り付ける(▶▶ 78)。

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください：

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する

過放電、それによる保証要件からの除外

- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。◀

注意事項

BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する

- 電源ソケットに接続されている機器を取り外します。

重要事項

車両に接続されているバッテリーをバッテリーターミナルで充電

車両電装系の損傷

- 充電前にバッテリーをバッテリーターミナルから接続を外してください。◀

重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー充電器および車両電装系の損傷

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorrad ディーラーで入手することができます。◀

重要事項

電源ソケットまたは補助コネクタから完全に放電したバッテリーを充電する

車両エレクトロニクスの損傷

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 12 V 未満、イグニッションオン時に表示灯およびマルチファンクションディスプレイがオフのまま）を必ず**分離した**バッテリーのターミナルで充電します。◀
- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。

注意事項

バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。

注意事項

電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していな

い可能性があります。この場合は、車両から分離したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

外したバッテリーを充電する

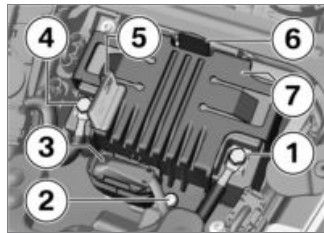
- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- バッテリーチャージャーの取扱説明書を確認し、遵守してください。
- 充電後、バッテリーチャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。

注意事項

長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

バッテリーを取り外す

- シートを取り外す(▶▶ 77)。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀
- イグニッションを OFF にします。



重要事項

バッテリーの接続を不適切な方法で切る

ショートのおそれ

- 接続を切る手順を遵守してください。◀
- 最初にバッテリーマイナス配線 **1** を取り外します。
- ロックを押し込み、プラスターミナルカバー **5** を開きます。
- その後、バッテリープラス配線 **4** を取り外します。
- コネクター **3** を外します。
- ボルト **2** を取り外します。
- ロック **6** を後方へ押します。
- バッテリーホルダー **7** を取り外します。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。

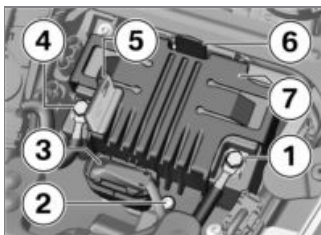
バッテリーを取り付ける

CF 注意事項

車両にバッテリーが入っていない期間が長かった場合は、サービスインジケーターの適切な機

能が保証されるように、現在の日付をメーターパネルに登録する必要があります。◀

- イグニッションを OFF にします。
- バッテリーのプラスターミナルを進行方向で右側にして、バッテリーをバッテリー収納部に組み込みます。



- バッテリーホルダー **7** をのせます。ホルダー **6** が音をたててかみ合います。
- ボルト **2** を取り付けます。
- コネクター **3** を接続します。

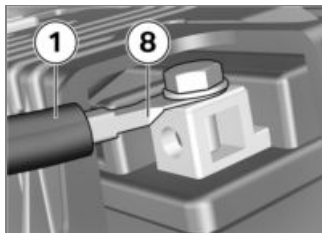
- プラスターミナルカバー **5** を開きます。

CF 重要事項

バッテリーの不適切な接続

ショートのおそれ

- 取り付け順序を守る。◀
- バッテリープラス配線 **4** を取り付けます。
- プラスターミナルカバー **5** を閉じます。



- バッテリーマイナス配線 **1** を **8** の向きで取り付けます。

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を ON にします。◀

- シートを取り付ける(▶▶▶ 78)。
- 時計を調整する(▶▶▶ 89)。
- 日付を設定する(▶▶▶ 89)。

ヒューズ

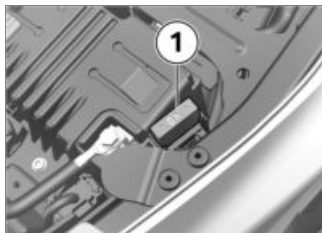
メインヒューズを交換する

重要事項

故障しているヒューズのバイパス
ショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀
- イグニッションを OFF にします。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

- シートを取り外す(▶▶▶ 77)。



- 故障したヒューズ **1** を交換します。

注意事項

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorradディーラーに依頼してください。◀

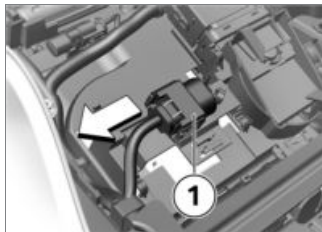


メインヒューズ

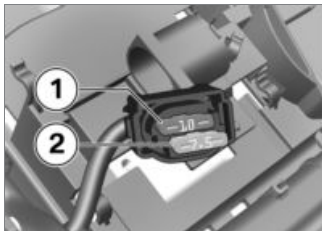
40 A (電圧レギュレーター)

- シートを取り付ける(▶▶▶ 78)。

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- シートを取り外す(▶▶▶ 77)。
- コネクター **1** を取り外します。



重要事項

故障しているヒューズのバイパスショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀
- 故障したヒューズ **1** または **2** を割り当てに従って交換します。

注意事項

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad

ディーラーに依頼してください。◀

ヒューズボックス

10 A (スロット 1: メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、診断ソケット、メインリレーコイル)

7.5 A (スロット 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ空気圧コントロール (RDC))

- コネクタを再び取り付けます。
- シートを取り付ける(▶▶ 78)。

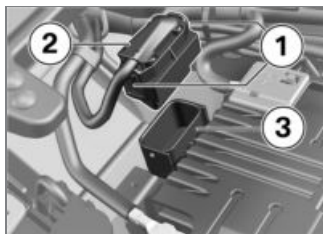
診断コネクター

診断コネクターを外す

⚠ 注意

オンボード診断用の診断コネクターを外す方法に誤り
車両の機能障害

- 診断コネクターを外す場合は、必ずBMW Service の間に依頼するか、専門の整備工場またはその他の認定を受けた人物に依頼してください。
- 適切な教育を受けた人物に作業を依頼してください。
- 車両メーカーの規定を守ってください。◀
- シートを取り外す(▶▶ 77)。

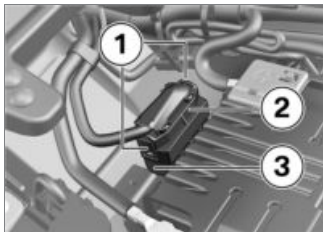


- ロック **1** の両側を押します。
- 診断コネクター **2** を止め具 **3** から外します。

- » 診断 / 情報システム用インターフェースを診断コネクター 2 に差し込むことができます。

診断コネクターを取り付ける

- 診断 / 情報システム用インターフェースを取り外します。



- 診断コネクター 2 をホルダー 3 に差し込みます。
- » ロック 1 がかみ合います。
- シートを取り付ける(▶ 78)。

チェーン

チェーンの潤滑を行う

重要事項

ドライブチェーンの不適切な清掃と潤滑

より激しい摩耗

- ドライブチェーンは定期的に清掃し、潤滑してください。◀
- ドライブチェーンは、少なくとも 800 km ごとに潤滑します。ぬかるみや、塵埃の中や、汚れた場所を走行した後は、適宜、早めに行ってください。
- イグニッションを OFF にし、ニュートラルに設定します。
- ドライブチェーンを適切なクリーニング剤で清掃し、乾かして、チェーン潤滑剤を塗布します。



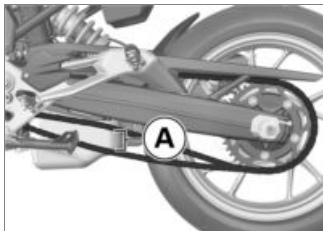
注意事項

BMW Motorrad は、ご使用になるチェーンクリーナーおよびチェーン潤滑剤をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。◀


- 潤滑剤が多すぎた場合は洗い流します。

チェーンのたるみ量を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- リヤホイールを回転させて、チェーンのたるみが一番小さくなる位置まで回します。



- チェーンをドライバーで上下に押し、差 **A** を測定します。

 チェーンのたるみ量

35...45 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態))

— ロードダウン^{OE} 装備

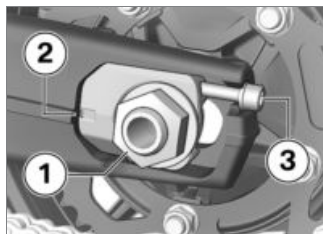
30...40 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態)) <

測定値が許容範囲を超えている場合：

- チェーンのたるみ量を調整する(▶▶ 169)。


チェーンのたるみ量を調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- アクスルナット **1** を外します。
- 左右のアジャストスクリュー **3** でチェーンのたるみ量を調整します。

- チェーンのたるみ量を点検する(▶▶ 168)。
- 調整値 **2** が左右で同じになるように注意してください。
- アクスルシャフトナット **1** を締付けトルクで締め付けます。

 スイングアーム内リヤホイールアクスルシャフト

ボルト固定剤: メカニズム部分
100 Nm



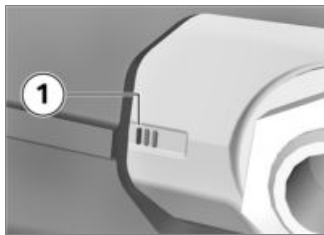
- ワッシャー **4** が完全にボルトの頭 **3** と接触しているか点検し、必要に応じて修正します。

チェーンの摩耗状態を点検する

前提条件

チェーンのたるみは正しく調整されています。

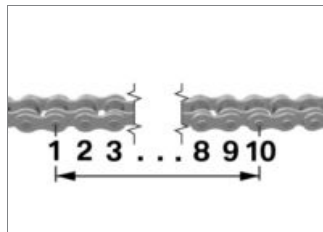
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 三つ目のマークライン **1** が完全に見えるかどうかを点検します。

三つ目のマークライン **1** が完全に見える場合、チェーン長さを点検します：

- 1 速に入れます。
- リヤホイールを進行方向に回し、チェーンがピンと張った状態になります。
- リヤスイングアーム下側のチェーン長さを 10 リベットの中心の上で測定します。
- リヤホイールを進行方向に回し、チェーン長さを 3 箇所測定します。

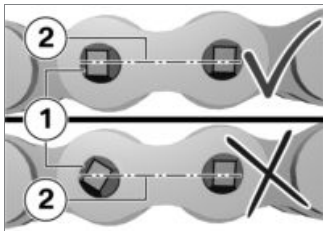


許容チェーン長

max 144 mm (10 リベットの中央で測定、チェーンは引っ張った状態)

チェーンが許容長に達している場合：

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。



- リベット頭部 **1** がねじ曲がっていないか確認してください。

リベット頭部はチェーン中心線 **2** と平行位置にあります。

- リベット打ちは正常です。

1 個または複数のリベット頭部がねじ曲がっています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

アクセサリ

一般的な情報	174
電源ソケット	174
ソフトケース	175
トップケース	176
ナビゲーションシステム	179

一般的な情報

**注意**

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト / 点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施さ

れています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

**[bmw-motorrad.com/
equipment](http://bmw-motorrad.com/equipment)**

電源ソケット

電源ソケット使用時の注意事項

自動停止

以下の状況では、電源ソケットは自動的に OFF になります：

- バッテリー電圧が低すぎて、車両の始動性能を維持できない場合。
- テクニカルデータで規定されている最大定格負荷を超過している場合。
- 始動動作中。

追加装備機器の使用

電源ソケットに接続されている追加装備機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。その後でイグニッションを OFF にしても、追加装備機器は作動し続けます。イグニッションを OFF にしてから約 15 分後に、電源ソケットは車両電装システムの負荷を解除するために OFF になります。

電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。その場合、イグニッションを OFF にした後に少し経ってから電源ソケットが OFF になります。

ケーブルの取り回し

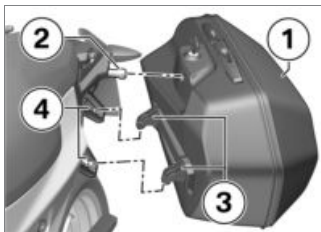
電源ソケットから追加装備機器にケーブルを取り回す際には、以下の点に注意してください：

- ケーブルがライダーの妨げになってはなりません。
- ケーブルがハンドルバーの動きやハンドリング性能を制限してはなりません。
- ケーブルが挟み込まれたりしてはなりません。

ソフトケース

ソフトケースを取り付ける

- 左 / 右ケースホルダー^{OE} 装備
- ケース^{OA} 装備



- ソフトケース **1** を突起部 **3** を使用して上方からホルダー **4** に掛けて取り付け、ロック **2** にあてがいます。



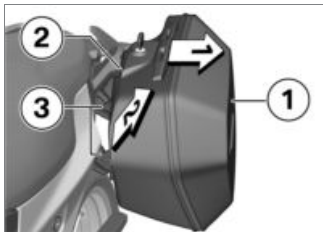
- キー **1** を進行方向と反対側に回し、ソフトケースをロックに押し込みます。
» ソフトケースが音をたててロックにかみ合います。

ソフトケースを取り外す

- 左 / 右ケースホルダー^{OE} 装備
- ケース^{OA} 装備



- キー **1** を進行方向の反対側に回します。



- ソフトケース **1** を矢印の方向 **1** にロック **2** から外します。ソフトケース **1** を矢印の

方向 **2** に突起部 **3** から持ち上げます。

最大積載荷重および最高速度

- 左 / 右ケースホルダー^{OE} 装備
- ケース^{OA} 装備

最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します。



ケースを装着して走行する
場合の最高速度

max 180 km/h



ケースごとの積載荷重

max 5 kg

トップケース

トップケースを開く

- トップケース^{OA} 装備
- ラゲッジラック^{OA} 装備



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回します。



- ロックシリンダー **1** を前方へ押します。
- » ロック解除レバー**2**が飛び出します。

- ロック解除レバーを完全に引き上げます。
- » トップケーススリッドを開けることができます。

トップケースを閉じる

- トップケース^{OA} 装備
- ラゲッジラック^{OA} 装備



- ロック解除レバー **1** を完全に引き上げます。
- トップケーススリッドを押したまま保持します。中身が挟まっていないか確認します。

注意事項

ロックがポジションLOCKにあるときに、トップケースが閉じることもあります。その場合には、キーがトップケース内にあることを確認する必要があります。◀



- ロック解除レバー **1** を、しっかりとかみ合うまで押し下げます。
- トップケースロックのキーをポジションLOCKに回し、引き抜きます。

トップケースを取り外す

- トップケース^{OA} 装備
- ラゲッジラック^{OA} 装備



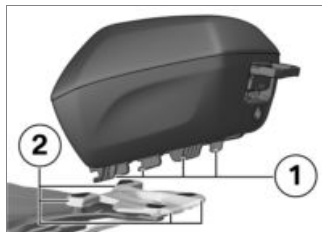
- キー **1** を時計回りにポジションRELEASEに回します。
- » キャリングハンドルが飛び出します。



- キャリングハンドル **1** を完全に上方向に開きます。
- トップケース後部を持ち上げ、ラゲッジラックから引いて外します。

トップケースを取り付ける

- トップケース^{OA} 装備
- ラゲッジラック^{OA} 装備
- キャリングハンドルを完全に引き上げます。




- トップケースをラゲッジラックに固定します。フック **1** が対応するサポート **2** に確実に組み合っているか確認します。



- キャリングハンドル **1** を、はまる音がするまで押し下げます。
- トップケースロックのキーをポジションLOCK に回し、引き抜きます。

最大積載荷重および最高速度

- トップケース^{OA} 装備
 - ラゲッジラック^{OA} 装備
- 最大積載荷重および最高速度を確認し、遵守します。

 トップケース積載で走行時の最高車速

max 180 km/h

トップケースの積載荷重

max 5 kg

ナビゲーションシステム

– NAV 取付けキット^{OE} 装備

ナビゲーションユニットを しっかりと取り付ける

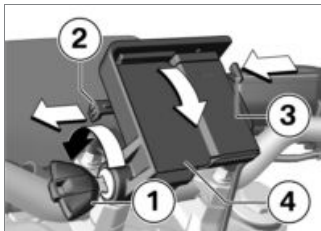
注意事項

BMW Motorrad Navigator IV 以降で、ナビゲーション準備部品に適合しています。◀

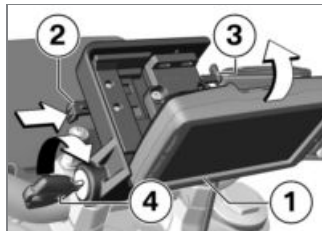
注意事項

Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。

走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- シャットオフ ロック **2** を左へ引きます。
- ロック **3** を押し込みます。
 - » Mount Cradle がロック解除され、カバー **4** を回転動作で前方へ取り外すことができますようになります。



- ナビゲーション装置 **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
 - » ナビゲーションユニットが音をたててはまります。
- シャットオフ ロック **2** を完全に右へスライドさせます。
 - » ロック **3** が掛かります。
- 車両キー **4** を時計回りに回します。
 - » ナビゲーションユニットはロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

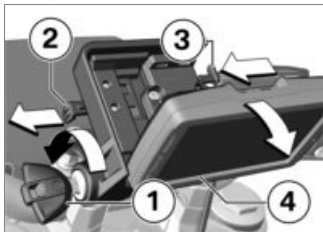
ナビゲーションユニットを取り外し、カバーを取り付ける

重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ

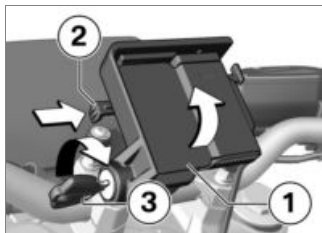
接触部の損傷

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- シャットオフ ロック **2** を完全に左へ引きます。
- » ロック **3** が解除されます。

- ロック **3** を完全に左へスライドさせます。
- » ナビゲーション装置 **4** がロック解除されます。
- ナビゲーション装置 **4** を傾けながら下方向へ取り外します。



- カバー **1** を下部領域に組み付け、回転させて上方へ回します。
- » カバーが音をたててはまります。
- シャットオフ ロック **2** を右へスライドさせます。

- 車両キー **3** を時計回りに回します。
- » カバー **1** が固定されます。

ナビゲーションシステムを操作する

注意事項

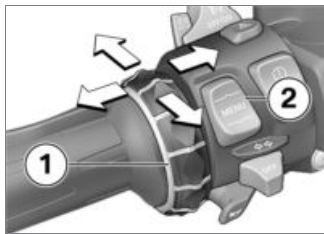
以下の説明はBMW Motorrad Navigator V およびBMW Motorrad Navigator VIに関するものです。BMW Motorrad Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。◀

注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場

合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

BMW Motorrad Navigator が取り付けられており、操作対象がNavigator に切り替えられている場合は (▶▶ 85)、その機能の一部をハンドルバーから直接操作することができます。



ナビゲーションシステムの操作は、マルチコントローラー **1** およびMENU ロッカースイッチ **2**で行います。

マルチコントローラー **1** を上下方向に回す

コンパス画面およびMedioplayer画面：Bluetoothを介して接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量を上げます / 下げます。
BMW スペシャルメニュー：メニュー項目を選択します。


マルチコントローラー **1** を左右に素早く傾けます


Navigator のメインページ間の切り替え：
- 地図表示部
- コンパス
- Medioplayer
- BMW スペシャルメニュー
- My Motorcycle ページ

マルチコントローラー **1** を左右にしばらくの間傾ける

Navigator ディスプレイで特定の機能を ON にします。この機能は、該当するタッチパッドの上

側に左矢印または右矢印で示されています。

 この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。

 この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

MENU ロッカーボタン **2** 下側を押す

操作対象をPure Ride 画面に切り替えます。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部

- 上方向へ回す：地図表示を拡大する (Zoom in)。
- 下方向へ回す：地図表示を縮小する (Zoom out)。

BMW スペシャルメニュー

- 前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- ウェイポイント：現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム：自宅住所へのナビゲーションを開始します(自宅住所が設定されていない場合にはグレー表示になっています)。
- ミュート：自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF: ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。
- 表示を OFF にする：ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する：ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します(接続されている電話があるときにのみ作動)。

- 迂回：迂回機能を ON にします(アクティブになっているルートがあるときにのみ作動)。
- ジャンプ：次のウェイポイントをジャンプします(そのルートにウェイポイントがある場合にのみ作動)。

My Motorcycle

- 回す：表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く叩く(タップする) ことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。



注意事項

Medioplayer の機能は、A2DP 標準に従った Bluetooth デバイス(例：BMW Motorrad 通信システム)を使用した場合のみ、利用できます。◀

Medioplayer

- 左方向へ長押しする：前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする：次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されている BMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

インジケーターおよび警告メッセージ



モーターサイクルのインジケーターおよび警告メッセージは、

マップ表示の左上の該当するアイコン **1** で表示されます。



注意事項

BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。◀

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。



注意事項

すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。◀

特別機能

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なる箇所が出ています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示の設定は使用できません。残量警告は車両から Navigator に伝送されるからです。メッセージが有効な場合、メッセージを押すと最寄りのガソリンスタンドが表示されます。

時刻表示と日付

時刻表示と日付が Navigator からモーターサイクルに伝送されます。TFT ディスプレイに時間を引き継ぐには、さらにメニュー設定、システム設定、日付および時刻で、機能 GPS 同期 を ON にする必要があります。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V および BMW Motorrad Navigator VI では、4桁の PIN により、第三者による操作から保護することができます (Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションが ON の間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigator がこの車両の車両識別番号を保存します。

車両識別番号は 5 つまで登録することができます。

これらの車両の 1 台でイグニッションを ON にすることにより、Navigator が ON になる場合には、PIN 入力は必要なくなります。

Navigator が ON の状態で車両から取り外されると、セキュリティ

上の理由から PIN の照会が開始されます。

画面の輝度

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。手動入力はありません。

自動設定を希望しない場合は、Navigator のディスプレイ設定で OFF にすることができます。

お手入れ

ケア用品.....	186
洗車	186
損傷しやすい車両部品のお手入れ.....	187
ペイントのお手入れ	188
保護コーティング	188
長期保管.....	188
モーターサイクルの再使用	189

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products については、原料のテストや研究機関による製品テストおよび試用テストが行われており、お客様の車両に使用されている素材のケアと保護を最適に行います。

重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。◀

重要事項

強度の酸性またはアルカリ性の洗剤の使用について

車両部品の損傷

- 洗剤の包装に記載されている希釈濃度を確認し、遵守してください。
- 決して強度の酸性またはアルカリ性の洗剤を使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

フォークストラットは定期的に清掃し、汚れを取り除いてください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。

警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド
ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレーキがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。◀

重要事項

温水による塩の作用の増大
腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀



重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック



重要事項

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。

- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。◀

フェアリング部

カバー部分を水とBMW Motorrad クリーナーで清掃します。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。



注意事項

硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀

TFT ディスプレイ

TFT ディスプレイを湯と洗剤を使用して清掃します。続いて、ペーパータオルなどの清潔なウェスで拭き取って乾かします。

クローム

クローム部品を十分な水とBMW Motorrad ケア製品シリーズのモーターサイクルクリーナーで丁寧に清掃します。これは特に融雪塩の影響を受けている場合に該当します。

さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad メタルポリッシュを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。

園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。



重要事項

ラジエタープレートを折り曲げるラジエタープレートの損傷

- 清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。◀

ラバー

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用

ラバーシールの損傷

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

ペイントのお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそ

れがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフェューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のために BMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

長期保管

- 洗車します。
- モーターサイクルを満タンにします。
- バッテリーを取り外す(▶▶ 164)。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、メイン(センター)スタンド / サイドスタンドのピボット部に、適切な潤滑剤を塗布します。

- むきだしの部品やクローム加工部品に非酸性のグリース(ワセリン)を塗布して保護します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します(できればBMW Motorrad が提供しているフロントホイールスタンドおよびリヤホイールスタンドを使用)。

モーターサイクルの再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- バッテリーを取り付ける(▶▶▶ 165)。
- チェックリストを確認し、遵守する(▶▶▶ 110)。

テクニカルデータ

トラブルシューティング	192
ボルト	196
燃料	198
エンジンオイル	198
エンジン	199
クラッチ	200
ギヤボックス	200
リヤホイールドライブ	201
フレーム	201
サスペンション	201
ブレーキ	202
ホイールとタイヤ	203
電装系	205
盗難警報装置	206
寸法	207

重量	208
性能	208

トラブルシューティング

エンジンが始動しない：

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	ニュートラルに設定するか、サイドスタンドを格納します。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルにするか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油します。
バッテリーが空になっている	接続しているバッテリーを充電します。
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約 1 分間冷却します。

Bluetooth 接続が確立されません。

原因

修理

ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。

コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。

ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。

ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2 分後に再度接続してください。

ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。

ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください (コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。

Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。

複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

Bluetooth 接続が阻害されています。

原因

携帯端末機器との Bluetooth 接続が遮断されま
す。

ヘルメットとの Bluetooth 接続が遮断されま
す。

ヘルメットの音量を調整することができません。

修理

省電力モードを OFF にしてください。

ヘルメットのコミュニケーションシステムを
OFF にして、1～2分後に再度接続してくださ
い。

ヘルメットのコミュニケーションシステムを
OFF にして、1～2分後に再度接続してくださ
い。

電話帳が TFT ディスプレイに表示されません。

原因

電話帳が車両にまだ転送されていません。

修理

モバイル端末機器でのペアリングの際に、電話
データの伝送 (■▶ 100) を確定します。

アクティブ目的地ガイドが TFT ディスプレイに表示されません。

原因

修理

BMW Motorrad Connected App のナビゲーションが転送されませんでした。

接続されている携帯端末機器で、走行開始前にBMW Motorrad Connected App を呼び出してください。

目的地ガイドをスタートさせることができません。

携帯端末機器のデータ接続を確認して、携帯端末機器のマップデータを点検してください。

ボルト

フロントホイール	数値	有効
フロントホイール回転数センサーとフォーク		
M6 x 16、ボルトを交換する マイクロカプセル加工済	8 Nm	
フロントフェンダーとテレスコピックフォーク		
M5 x 14、ボルトを交換する マイクロカプセル加工済	2 Nm	
ブレーキキャリパーとテレスコピックフォーク		
M10 x 65	38 Nm	
アクスルシャフトのクランプ		
M8 x 35	締め付け順序: ボルトを 6 回、交互に締め付ける	
	19 Nm	
フロントアクスルシャフト内のアクスルボルト		
M20 x 1.5	50 Nm	

リヤホイール	数値	有効
リヤホイール回転数センサーとブレーキキャリアサポート		
M6 x 16、ボルトを交換する マイクロカプセル加工済	8 Nm	
スイングアーム内リヤホイールアクスルシャフト		
M24 x 1.5 メカニズム部分	100 Nm	
ミラーアーム	数値	有効
ミラー(ロックナット) とクランプ		
M10 x 1.25	左ネジ、22 Nm	
アダプターとクランプ台		
M10 x 14 - 4.8	25 Nm	

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 15 % エタノール、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
フューエルタンク容量	約 13 l
フューエルリザーブ容量	約 3.5 l
燃費	4.2 l/100 km、WMTC モード値
CO2 排出	99 g/km、WMTC モード値
排ガス基準	EU 5

エンジンオイル

エンジンオイル容量	約 3.0 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SL / JASO MA2、添加剤 (例えばモリブデンベースのもの) は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています。

オイル添加剤	オイル添加剤はクラッチ機能に支障をもたらすおそれがあるため、BMW Motorrad はオイル添加剤の使用をお勧めしません。ご愛用のモーターサイクルに適したエンジンオイルについては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
--------	---

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

エンジン

エンジン番号位置	クランクケース上部、オイルヒートエクスチェンジャー近く
エンジン型式	A24A09A
エンジン型式	水冷 2 シリンダー 4 ストロークエンジン、シリンダーごとにロッカーアームを介して 4 バルブを操作、上部にある二個のカムシャフトおよびドライサンプ潤滑方式
排気量	895 cm ³
シリンダーボア	86 mm
ピストンストローク	77 mm
圧縮比	13.1:1
最高出力	77 kW、エンジン回転数: 8500 min ⁻¹

最大トルク	92 Nm、エンジン回転数: 6500 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドル回転数	1250 ^{±50} min ⁻¹ 、エンジン作動温度時

クラッチ

クラッチの仕様	湿式多板クラッチ(アンチホッピング)
---------	--------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	シリンダーブロックに統合された常時噛み合い式ヘリカルギヤ6速マニュアルトランスミッション
ギヤ比	1.821、一次減速比 1:2.833、1速 1:2.067、2速 1:1.600、3速 1:1.308、4速 1:1.103、5速 1:0.968、6速

リヤホイールドライブ

駆動方式	チェーンドライブ
リヤホイールドライブの歯数 (ドライブスプロケット / ドリブンスプロケット)	17/44

フレーム

フレーム型式	シェル構造スチール製ブリッジタイプフレーム
型式プレートの位置	左フロントフレームとステアリングヘッド
車両識別番号の位置	右フロントフレーム

サスペンション

フロントホイール	
フロントサスペンション型式	テレスコピックフォーク
スプリングトラベル (フロント)	135 mm、フロントホイールで
- ローダウン ^{OE} 装備	115 mm、フロントホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	アルミキャストダブルアームスイングアーム
リヤサスペンション構造	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
リアホイールのスプリング	142 mm、リヤホイールで
- ローダウン ^{OE} 装備	122 mm、リヤホイールで

ブレーキ**フロントホイール**

フロントブレーキ型式	4ピストンラジアルブレーキキャリパーを搭載した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント式
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	4.5 mm、新品時の状態 min 4.0 mm、摩耗限度
ブレーキ操作の遊び (フロントブレーキ)	0.7...1.7 mm、ピストンで測定

リヤホイール	
リヤブレーキ型式	1ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクはリジッドマウント
リヤブレーキパッドの材質	有機素材
リヤブレーキディスク厚	5.0 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキペダルのブローバイククリアランス	2.0...3.0 mm、進行方向に対して直角、ブレーキライツスイッチプレートとフットレストプレート間

ホイールとタイヤ

推奨されるタイヤの組み合わせ	最新の承認タイヤの一覧については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、ウェブサイト bmw-motorrad.com をご覧ください。
タイヤ速度カテゴリー(フロント / リヤ)	W、少なくとも下記の値以上が必要: 270 km/h

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミキャストホイール
フロントホイールリムサイズ	3.50" x 17"
タイヤサイズ(フロント)	120/70 ZR 17
タイヤ荷重指数(フロント)	58
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

リヤホイール

リヤホイールの仕様	アルミキャストホイール
リヤホイールリムサイズ	5.50" x 17"
タイヤサイズ(リヤ)	180/55 ZR 17
タイヤ荷重指数(リヤ)	73
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ空気圧(リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装系

メインヒューズ	40 A、電圧レギュレーター
ヒューズボックス	10 A、スロット 1: メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、診断ソケット、メインリレーコイル 7.5 A、スロット 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ空気圧コントロール (RDC)
電源ソケットの定格電気負荷	5 A
バッテリー	
バッテリー型式	AGM バッテリー (Absorbent Glass Mat: グラスマット吸収式)
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah
バッテリータイプ (Keyless Ride 無線キー)	
- Keyless Ride ^{OE} 装備	CR 2032
スパークプラグ	
スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8J-9E

ライトバルブ

ハイビーム用バルブ	LED
ロービームのバルブ	LED
ポジションライト / パーキングライトバルブ	LED
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED
ライセンスプレートライト用バルブ	テールライトに内蔵
ウインカー用バルブ	LED
リヤウインカー用バルブ	LED

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2140 mm、リヤホイールの上
- ローダウン ^{OE} 装備	2135 mm、リヤホイールの上
全高	1130 mm、メーターパネル含む、DIN 空車時
- ローダウン ^{OE} 装備	1110 mm、メーターパネル含む、DIN 空車時
全幅	815 mm、ハンドレバーを含む
フロントシート高さ	815 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
- ローシート ^{OE} 装備	790 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
- エクストラハイシート ^{OE} 装備	865 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
- ローダウン ^{OE} 装備	770 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
ライダーステップアーチレングス	1820 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
- ローシート ^{OE} 装備	1785 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
- エクストラハイシート ^{OE} 装備	1890 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時
- ローダウン ^{OE} 装備	1755 mm、ライダー非乗車時、DIN 空車時

重量

空車重量	211 kg、DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
フロント軸荷重(空車時)	106 kg
許容軸荷重(フロント)	max 180 kg
リヤ軸荷重(空車時)	105 kg
許容軸荷重(リヤ)	max 300 kg
許容総重量	430 kg
最大積載荷重	219 kg

性能

最高速度	>200 km/h
------	-----------

サービス

リサイクル	210
BMW Motorrad サービス	211
BMW Motorrad サービス履歴	212
BMW Motorrad モビリティサービス ス.....	212
メンテナンス作業	212
メンテナンススケジュール.....	215
メンテナンスの確認	216
サービスの確認.....	230

リサイクル

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」の BMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

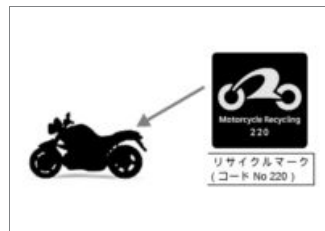
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されている BMW Motorrad は、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および

指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorradディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分(土日祝日、年末年始等を除く)
- インターネット: jarc.or.jp

BMW Motorrad サービス

BMW Motorradは広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界100か国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorradディーラーは、ご使用のBMWモーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にを行うための技術情報および技術的ノウハウを備えています。最寄りのBMW Motorradディーラーは下記のインターネットサイトでご確認いただけます：

bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorradでは、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorradディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMWモーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorradは、規定のメンテナンスインターバルを遵守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両の電子サービス履歴が更新されると、サービスに関するデータがドイツ・ミュンヘンにあるBMW AG 本部 IT システムに保存されます。

サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW Motorrad モビリティサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

モビリティサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検(PDI)

BMW 納車前点検(PDI)は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

500 km～ 1200 km の間に必ずBMW 初回点検を行ってください。

BMW サービス

BMW サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次回のサービス時期を登録します。

1年間にかかりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前にサービスを実施する必要があります。この場合、該当する最長

走行距離が一般整備記録に追記されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

ディスプレイのサービス表示により、登録日の約 1 カ月前または登録距離の 1000 km 前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

メンテナンススケジュール

- 1 BMW 初回点検
- 2 BMW 標準サービス範囲
- 3 エンジンオイルを交換する
(フィルター交換時)
- 4 バルブクリアランスを点検する
- 5 すべてのスパークプラグを交換する
- 6 エアクリーナーエレメントを交換する
- 7 テレスコピックフォークのオイル交換
- 8 システム全体のブレーキフルードを交換する
 - a 1年に1回または10000 km ごと(どちらか先に該当した方)
 - b 初回は1年後、その後は2年ごと

メンテナンスの確認

BMW Service 標準範囲

以下は、BMW Service 標準範囲の活動が記載されています。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 診断システムで車両テストを実施する
- クーラントレベルを点検する
- クラッチの遊びを点検 / 調整する
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- リヤブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗を点検する
- フロント / リヤのブレーキフルードレベルを点検する
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さを点検する
- チェーンドライブを点検し、潤滑する
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- メイン(センター) スタンドがスムーズに動くか点検する
- ステアリングヘッドベアリングを点検する
- 照明および信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 故障診断装置を使用して、サービス時期および残余走行距離を設定する
- バッテリー充電状態を点検する
- 車載書類に記載されているBMW サービスについて確認する

BMW 納車前点検

実施済み

日付_____

押印、署名

BMW 初回点検

実施済み

日付_____

距離 km_____

次回サービス

最長期限

日付_____

または最短

距離 km_____

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期限

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意

押印、署名

BMW サービス

実施済み

日付 _____

距離 km _____

次回サービス

最長期間

日付 _____

または最短

距離 km _____

実施済みの作業

BMW サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフ

ルード交換

注意

押印、署名

サービスの確認

この表は、メンテナンス作業、修理作業、取り付けられた特別付属品、および実施された特別活動の確認のために利用できます。

実施済みの作業	距離 km	日付

付録

- 電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) 用認証..... 234
- キーレスエントリー用認証 236
- TFT メーターパネル用認証 238

FCC Approval

Ring aerial in the ignition switch



To verify the authorization of the ignition key, the electronic immobilizer exchanges information with the ignition key via the ring aerial.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. ◀

Approbation de la FCC

Antenne annulaire présente dans le commutateur d'allumage



Pour vérifier l'autorisation de la clé de contact, le système d'immobilisation électronique échange des

informations avec la clé de contact via l'antenne annulaire.

Le présent dispositif est conforme à la partie 15 des règles de la FCC. Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes :

- (1) Le dispositif ne doit pas produire d'interférences nuisibles, et
- (2) le dispositif doit pouvoir accepter toutes les interférences extérieures, y compris celles qui pourraient provoquer une activation inopportune.



Toute modification qui n'aurait pas été approuvée expressément par l'organisme responsable de l'homologation peut annuler l'autorisation accordée à l'utilisateur pour utiliser le dispositif. ◀

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada

Product name: BMW Keyless Ride ID Device
FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

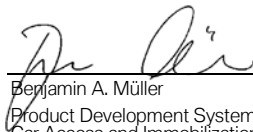
BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment- Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1 .9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW;
Part 1: Technical characteristics and test methods.
Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking: **CE**

Velbert, October 15th, 2013



Benjamin A. Müller
Product Development Systems
Car Access and Immobilization – Electronics
Huf Hülbeck & Fürst GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551 Velbert

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Technical information

BT operating frq. Range: 2402 – 2480 MHz

BT version: 4.2 (no BTLE)

BT output power: < 4 dBm

WLAN operating frq. Range: 2412 – 2462 MHz

WLAN standards: IEEE 802.11 b/g/n

WLAN output power: < 20 dBm

Manufacturer and Address

Manufacturer:

Robert Bosch Car Multimedia GmbH

Adress: Robert Bosch Str. 200,

31139 Hildesheim, GERMANY

Turkey

Robert Bosch Car Multimedia GmbH, ICC6.5in tipi telsiz sisteminin 2014/53/EU nolu yönetmeliğe uygun olduğunu beyan eder. AB Uygunluk Beyanı'nın tam metni, aşağıdaki internet adresinden görülebilir: <http://cert.bosch-carmultimedia.net>

Brazil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Canada

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Mexico

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
(2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Taiwan, Republic of

根據 NCC 低功率電波輻射性電機管理辦法 規定：
第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，

指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้

มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

United States (USA)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause interference, and
(2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Korea

적합성평가에 관한 고시

R-CMM-RBR-ICC651N

상호 : Robert Bosch Car Multimedia

GmbH 모델명 : ICC6.5in

기자재명칭 : 특정소출력 무선기기

(무선데이터통신시스템용 무선기기)

제조사 및 제조국가 : Robert Bosch Car
Multimedia GmbH / 포르투갈

제조년월 : 제조년월로 표기

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

A

- ABS
 - 技術情報, 128
 - 自己診断, 112
 - 表示, 45

ASC

- インジケーター / 警告灯, 46
- 技術情報, 130
- 自己診断, 113
- 操作する, 61
- 操作部, 19

B

- Bluetooth, 90
- ペアリング, 91

D

- DTC
 - インジケーター / 警告灯, 46
 - 技術情報, 130
 - 自己診断, 113
 - 操作する, 61
- DWA
 - 仕様(諸元), 206
- Dynamic Brake Control, 135
 - 技術情報, 135

- Dynamic ESA
 - 操作する, 62
 - 操作部, 19

K

- Keyless Ride
 - イグニッションを OFF にする, 55
 - イグニッションを ON にする, 54
 - 警告表示, 39, 40
 - ステアリングロックをロックする, 54
 - タンクキャップをロック解除する, 121, 122
 - 無線キーのバッテリーが空になっているか、または無線キーの紛失, 55

L

- Laptimer, 72
 - 時間計算を開始する, 72
 - 時間計算を終了する, 72
 - 調整する, 72

P

- Pairing, 91
- Pre-Ride-Check, 112

R

- Rider's Manual
 - 車両における位置, 18

あ

- アクセサリ
 - 一般的な情報, 174

値

- 表示, 31
- アダプティブヘッドライト, 137
 - 技術情報, 137
- 安全に関する注意事項
 - ブレーキ, 117
 - ライディングにあたって, 108

い

- イグニッション
 - OFF にする, 53
 - ON にする, 52
- イグニッションキルスイッチ
 - 操作する, 57
 - 操作部, 20

インジケーター / 警告灯, 21
全体図, 24

う

ウインカー
操作する, 60
操作部, 19

え

エンジン
エンジンエレクトロニクス警告
表示, 43
エンジン制御系警告表示, 44
始動, 111
仕様 (諸元) , 199
排気ガス警告灯, 43
エンジンオイル
オイルレベルゲージ, 15
充填レベルを点検する, 142
仕様 (諸元) , 198
注入口, 15
補充する, 143
エンジン回転数表示, 21
エンジン回転数表示, 88

エンジン始動ロック
スペアキー, 57
エンジンプレーキトルクレギュ
レーター, 132

お

お手入れ
クローム, 187
ペイント保護コーティング,
188
オンボードコンピューター, 96

か

外気温度
外気温度警告, 39
表示, 39
型式プレート
車両における位置, 17

き

キー, 52, 53
記号と意味, 6
ギヤチェンジ
シフトアップ推奨, 88
シフトポイント用フラッ
シュ, 116

ギヤボックス
仕様 (諸元) , 200
給油する, 120
Keyless Ride 装備, 121, 122
燃料品質, 119

く

クーラント
異常高温用警告表示, 43
充填レベル表示, 17
充填レベルを点検する, 149
補充する, 150
クラッチ
遊びを調整する, 149
遊びを点検する, 148
機能を点検する, 148
クラッチレバーを調整す
る, 103
仕様 (諸元) , 200
グリップヒーター
操作する, 76
操作部, 20
クルーズコントロール
操作する, 69

- け
警告灯, 21
 全体図, 24
警告表示
 ABS, 45
 ASC, 46
 DTC, 46
 My Motorcycle, 93
 エンジンエレクトロニクス, 43
 エンジンコントロール, 44
 外気温度警告, 39
 ギヤが学習されていない, 48
 クーラント温度, 43
 車両電装システム電圧, 40
 盗難警報装置, 42
 排気ガス警告灯, 43
 表示, 31
 フューエルリザーブ容量, 48
 ライトバルブの故障, 41
警告表示一覧, 33
ケース, 175
- こ
コーディングプラグ
 車両における位置, 18
 取り付ける, 66
コンビネーションスイッチ
 左側面, 19
 右側面, 20
- さ
サービス, 211
 サービス履歴, 212
サービス表示, 49
サスペンション
 仕様(諸元), 201
- し
シート
 取り付ける, 77
 取り外す, 77
 ロック, 15
始動, 111
 操作部, 20
シフトアシスト
 技術情報, 136
 ギヤが学習されていない, 48
 走行, 115

- シフト表示, 73
 ONにする / OFFにする, 73
 調整する, 73
締め付けトルク, 196
車両
 再使用, 189
車両識別番号
 車両における位置, 17
車両電装システム電圧
 警告表示, 40
ジャンプスタート, 161
重量
 仕様(諸元), 208
 積載荷重一覧, 18
仕様(諸元)
 一般的な情報, 7
 エンジン, 199
 エンジンオイル, 198
 規格, 7
 ギヤボックス, 200
 クラッチ, 200
 サスペンション, 201
 重量, 208
 スパークプラグ, 205
 寸法, 207

性能, 208
電装系, 205
盗難警報装置, 206
燃料, 198
バッテリー, 205
ブレーキ, 202
フレーム, 201
ホイールとタイヤ, 203
ライトバルブ, 206
リヤホイールドライブ, 201
ショックアブソーバー
調整エレメント, 15
診断コネクター
固定する, 168
車両における位置, 18
外す, 167

す
ステアリングロック
ロックする, 52
スパークプラグ
仕様(諸元), 205
スピードメーター, 21

スプリングプリロード
調整エレメント, 17
調整する, 104
寸法
仕様(諸元), 207

せ
制限速度情報
ON または OFF にする, 87
性能
仕様(諸元), 208
全体図
My Motorcycle, 93
TFT ディスプレイ, 25, 27
インジケーター / 警告灯, 24
シート下, 18
左コンビネーションスイッチ, 19
左側面図, 15
右コンビネーションスイッチ, 20
右側面図, 17
メーターパネル, 21

そ
走行モード, 64
走行モードPRO を設定する, 68
操作焦点
交換する, 85
装備, 7
それまでで最高のラップ, 73

た
タイヤ
充填圧, 204
充填圧を点検する, 150
仕様(諸元), 203
推奨, 151
トレッドの溝の深さを点検する, 151
慣らし走行, 115
タンクキャップ緊急ロック解除機構, 123, 124

ち
チェーン
潤滑する, 168
たるみ量を調整する, 169
たるみ量を点検する, 168
摩耗状態を点検する, 170

チェックコントロール
ダイアログ画面, 31

表示, 31

駐車, 118

つ

ツールキット

車両における位置, 18

て

TFT ディスプレイ, 21

全体図, 25, 27

操作する, 84, 85, 86

操作部, 19

表示を選択する, 81

電源ソケット

車両における位置, 15

使用上の注意, 174

電装系

仕様(諸元), 205

電話

操作する, 99

と

盗難警報装置(DWA)

インジケーター / 警告灯, 21

警告表示, 42

操作する, 74

時計

調整する, 89

トップケース

操作する, 176

トラクションコントロール

ASC, 130

DTC, 130

トラブルシューティング, 192

な

ナビゲーション

操作する, 96

慣らし走行, 114

に

荷物

積載に関する注意, 108

ね

燃料

Keyless Ride 装備の場合の給油, 121, 122

給油する, 120

仕様(諸元), 198

燃料品質, 119

は

パーキングライト, 59

排気ガス警告灯, 43

ハザードランプ

操作する, 59

操作部, 19

バッテリー

仕様(諸元), 205

接続しているバッテリーを充電する, 163

取り付け, 165

取り外す, 164

外したバッテリーを充電する, 164

ボードエレクトリック電源電圧に関する警告表示, 40

メンテナンスに関する注意, 163

バルブ

- ウインカー, 161
- 仕様(諸元), 206
- ブレーキライト/テールライト用LEDを交換する, 161
- ポジション/パーキングライト用LEDを交換する, 161
- ライトバルブの故障用警告表示, 41
- ロービーム/ハイビーム用LEDを交換する, 161

ひ

Pure Ride

- 全体図, 25

ヒューズ

- 交換する, 166
- 車両における位置, 18

ふ

- フォローミーホームライト, 58
- フューエルリザーブ容量警告表示, 48
- 走行可能距離, 88

ブレーキ

- ABS Proの詳細, 130
- ABS Proは走行モードに対応, 118
- 安全に関する注意事項, 117
- 機能を点検する, 144
- 仕様(諸元), 202
- ブレーキレバーを調整する, 103
- ブレーキパッド慣らし走行, 114
- フロントを点検する, 144
- リヤを点検する, 145
- ブレーキフルード
- フロント充填レベルを点検する, 146
- フロントリザーバータンク, 17
- リヤ充填レベルを点検する, 147
- リヤリザーバータンク, 17
- フレイム
- 仕様(諸元), 201
- フロントホイールスタンド
- 取り付ける, 141

へ

ヘッドライト

- 光軸, 102
- 光軸を調整する, 103

ほ

ホイール

- サイズ変更, 152
- 仕様(諸元), 203
- フロントホイールを取り付ける, 154
- フロントホイールを取り外す, 152
- ホイールリムを点検する, 151
- リヤホイールを取り付ける, 159
- リヤホイールを取り外す, 157
- ホーン, 19
- ボルト, 196
- 本書の記述について, 8

み

ミラー

- 調整する, 102

め

- メンテナンス
 - メンテナンススケジュール, 215
- メンテナンススケジュール, 212
- メーターパネル
 - 周囲輝度センサー, 21
 - 全体図, 21
- メディア
 - 操作する, 99
- メニュー
 - 呼び出す, 84
- メンテナンスの確認, 216

も

- モーターサイクル
 - お手入れ, 185
 - 固定する, 124
 - 清掃する, 185
 - 駐車, 118
 - 長期保管, 188
- モビリティサービス, 212

ら

- ライダー情報ステータス欄
 - 調整する, 86, 87
- ライト
 - アダプティブヘッドライト, 137
 - 操作部, 19
 - パーキングライトを操作する, 59
 - ハイビームを操作する, 58
 - パッシングライトを操作する, 58
 - フォローミーホームライト, 58
 - ポジション / パーキングライト, 58
 - ロービーム, 58

り

- リサイクル, 210
- リモートコントロール
 - バッテリーを交換する, 56
- リヤホイールドライブ
 - 仕様(諸元), 201

ろ

- ロードダウンサスペンション制限, 108

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany

© 2019 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft

80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

燃料補給用データ：

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 15 %エタノール、E15) 95 ROZ/RON 90 AKI
-------------	---

フューエルタンク容量	約 13 l
------------	--------

フューエルリザーブ容量	約 3.5 l
-------------	---------

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
---------------	----------------

タイヤ空気圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時
-------------	----------------

ご使用の車両に関するさらに詳しい情報については、次のウェブサイト
を参照してください：bmw-motorrad.com

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

P/No.: 01 40 1 603 378
11.2019、1st edition、08

